

令和 5 年度

第 21 期

遊佐町

少年町長・少年議員
公選事業

活動報告書



令和 6 年 3 月 遊佐町

第21期遊佐町少年町長・少年議員公選事業活動報告書

目次

活動経過報告	...	1
実施要項	...	2
立候補者募集チラシ	...	5
少年町長・少年議員公選事業 選挙公報	...	6
少年町長・少年議員公選事業 少年議会広報	...	8
第21期少年町長・少年議員一覧	...	10
有権者（町内在住・在学中高生）向けアンケート	...	11
アンケート集計	...	12
一般質問・政策提言 一覧	...	18
第2回少年議会 – 施政方針・一般質問・政策提言	...	19
町からの回答	...	27
第3回少年議会 – 全体総括・議会報告	...	31
（資料）		
遊佐町少年町長・少年議員公選事業説明資料	...	40
町議会議員との意見交換会の様子	...	45
スポーツゴミ拾い（政策①）	...	46
伝統体験イベント（政策②）	...	48
その他町内行事への参加	...	50
広報ゆざ 令和5年8月1日号（少年議会スタート）	...	51
広報ゆざ 令和6年3月1日号（第21期活動報告）	...	52
プロジェクト委員名簿	...	55

令和5年度 第21期遊佐町少年町長・少年議員 活動日程

No.	期 日	活 動	場 所	備 考
1	5月12-19日	立候補受付期間		
2	6月12-16日	投票受付期間		
3	6月17日	開票作業	センター	議員選のみ
4	6月20日	当選証書附与式及び第一回少年議会	役場	
5	6月25日	町内巡り、第一回全員協議会	センター	町内巡りは4年ぶり
6	6月29-7月25日	第二-六回全員協議会	センター	アンケートの集計、政策、一般質問の決定 6月29日、7月4, 10, 18, 25日
7	8月6日	杉沢比山解説	杉沢	文化係と協力
8	8月24日	第二回少年議会	センター	独自政策の報告、町への一般質問
9	8月29日 -11月21日	第七-十五回全員協議会	センター	独自政策実現に向けての討議 8月29日、9月5, 12, 19, 26日、 10月3, 17, 31日、11月21日
10	9月2、3日	ソーデーマーチ参加		ウォーカーへのエール、ラジオ出演
11	9月22日 10月1日	スポゴミチラシの配布		町内小中学校、遊佐酒田の高校、全町民
12	9月29日	遊佐町議会議員との意見交換会	センター	
13	10月7日	鹿の角切りイベント	大平山荘	4名が参加
14	10月9日	スポーツゴミ拾い	町内	政策①
15	10月28日	ゆざみらいしゃべり場	稲川 まちセン	4名が参加
16	10月31日	ヒアリング対応	センター	zoomにてオンライン対応、2名が対応
17	11月11日	伝統体験イベント	センター	郷土料理、遊佐刺し子の体験
18	12月19日	第三回少年議会	議場	事業報告
19	2月10日	検討会、まちづくり研修	センター	まちづくりについて講演 繁田久美子 氏、中島悠 氏
20	2月19日	遊佐PAT（新道の駅）ワークショップ	議場	4名が参加
21	3月8日	選挙啓発音源の収録	役場無線室	少年町長・少年議長参加

※各市区町村からの行政視察等の事務局だけで対応したものを除く

遊佐町少年町長・少年議員公選事業実施要項（第21期）

1. 名称 「遊佐町少年町長・少年議員公選事業」

2. タイトル 「若者の力で、遊佐の未来をつくろう」

常に、歴史は若者によって創られてきました。地域の青年たちは、いつでも地域を変革していく「力」を蓄えています。青年たちが自分たちの住むまちを自分たちの協働の「力」で変革しはじめるとき、時代が拓かれ地域の民主主義が再生します。そして、地域の中で若者たちが生活者として認識され、若者たちの居場所と役割が地域の中に見えてきます。そのことを通じて、若者が生き生きと生活していく自立した地域が再生されます。

3. スローガン

自分たちの力で、自分たちが本当に求める遊佐のまちをつくろう。

遊佐町は、私たちが生まれ育った町です。鳥海山、月光川、庄内砂丘と日本海に抱かれ、豊かな自然や歴史風土あふれる町です。

21世紀をむかえ、私たちの前には地球規模での自然環境の悪化、エネルギー、食糧、少子化・高齢化、さらに、民族問題、経済格差などの新たな問題や課題が横たわっています。改めて、これまでの社会、経済そして私たちの「生き方」「あり方」「生活の仕方」そのものの大転換が迫られています。

そして、さらに私たちを取り巻く仕組みの大きな変化として「分権社会」が到来し、自分たちの生き方を自分たちが決めていくという社会システムを構築していくことが求められています。

こうした状況をふまえて、こどもたちにおいては、勉強ができスポーツが上手であればそれでよしという時代ではなくなっているというのが現状です。その上で、人間らしく「生きる力」を育成し、開かれた個としての人格の完成に向けて、これまで以上に、こどもたちが社会とつながる活動を大切にしていくことが重要です。その過程を通して、気づき、考え、行動し、表現する。そのことによって、培われた「学力」は、一層生きて働く方向性を見出していきます。

本事業を通して、若者たちの意見や願いをもとに若者の力で遊佐町の地域づくりを行うと共に、相互教育を行おうとするものです。

4. 事業のねらい

- (1) 若者たちが、自らの代表を直接選び、政策を実現していくことで、学校外で民主主義を実際に体験・学習することにより社会の構成システムを学ぶ。
- (2) 中高校生等の未来を担う若者の視点から、町政への提言や意見を町が積極的に採り上げることを通じて、若者の町政参加を促す。
- (3) この事業に関わるすべての関係者が、若者の町政に対する意見に学び、併せて若者たちが、社会システムや民主主義を学ぶ、相互教育の場とする。

5. 少年町長・少年議員の対象者

対象者は、遊佐町在住の中高校生及び遊佐町に通学する高校生とする。対象者はだれでも、少年町長及び少年議員の選挙権と被選挙権をもつ。

また、少年議員は、自らの政策立案権と少年町長の議案審議権を有する。

6. 構成員

(1) 少年町長（1名）

対象者のうち少年町長に立候補し、全有権者の投票により信任された者

(2) 少年議員（10名）

対象者のうち少年議員に立候補し、全有権者の投票により信任された者

(3) 少年副町長・少年監査委員・少年事務局長・少年事務局次長

特に必要があると認められるときに、少年町長・少年議員に立候補し、当選しなかった者のうちから委嘱する者。または、少年議員を除く少年町長・少年議員の対象者のうちから少年町長が選任する者

※少年議員の定員が定数内の場合は置かないものとする。

7. 少年町長

少年町長は、遊佐町少年町長・少年議員公選事業にかかる全ての有権者の代表であり少年議会で承認された政策の実現のため遊佐町長に対して、予算要求を行う権限をもつ。

また、遊佐町長より交付された政策予算の予算執行権をもつ。

8. 少年議員

少年議員は、少年町長が招集し議案を提案し承認を得る。少年議員は、最初の議会に議長及び議長代理を選任するとともに、少年町長の議案審議を行う。

併せて、自ら少年政策立案を少年議会の場で行うことができる。

9. 少年副町長

少年町長を補佐し、少年町長不在の場合、臨時的に政策実現における執行権限をもつ。

10. 少年監査委員

少年監査委員は、少年議会の附属機関として、予算執行に関する監査権をもち、少年町長に勧告することができる。

11. 少年事務局長

少年事務局長は、少年議会の附属機関として、全員協議会の運営の手伝い、その他の事務処理等を行うことができる。

遊佐町少年町長・少年議員公選事業

い ま 中高生にしかできないことがある!
少年町長・少年議員

自分たちの
アイデアを
実現しよう!

明日の遊佐町に
わたしたちは
提案します!

第21期

立候補者募集中

【受付期間】2023 5/12(金)→19(金)



I 選ぼう! ●遊佐町に在住・在学の中高生の中から「少年町長」「少年議員」として活動してみたい人の立候補を受け付けます。定数を超えた場合は投票を行い当選者を決定します。

立候補受付期間
2023年
5/12(金)→19(金)

公選で選ぶ人
①少年町長 1名 ②少年議員 10名
※定数を超えた場合などには、少年副町長や少年監査などへ就任してもらいます。

立候補の仕方
直接持参またはFAXによる届け出、もしくは各学校の先生へ用紙を提出してください。

II 討議しよう! ●少年町長・少年議員だけで集まり、町への要望や独自の政策など話し合いをする全員協議会は学校の勉強や部活動などを考慮して日にちを決めています。(例:土・日の午後、平日の夜など)

III 実現しよう! ●全員協議会などで話し合った独自の政策を45万円の予算を用いて実現していきます。

昨年度の活動
①特産品の開発 → 町内道の駅に新商品の提案をしました!!
②遊佐マルシェの開催 → 町内の魅力を発信しました!!
※詳しくは「遊佐町少年議会」で検索してください。少年議会専用のHPがあります。

問い合わせ連絡先
遊佐町教育委員会教育課社会教育係
遊佐町遊佐字鶴田52-2 遊佐町生涯学習センター内)
TEL.0234-72-2236 FAX.0234-71-1222 MAIL:youthgikai@town.yuza.lg.jp

遊佐町少年議会

検索



【第21期】遊佐町少年町長・少年議員公選事業 立候補届

立候補 少年町長・少年議員	立候補の抱負
ふりがな	
氏名	
住所	
連絡先	
学校名	

※立候補の仕方は直接持参またはFAXによる届け出、もしくは各学校の先生へ用紙を提出してください。



米〜ちゃん
遊佐町イメージキャラクター

選挙公報



ライちゃん
遊佐町イメージキャラクター

明日の遊佐町に、ほくたちは、わたしたちは、提案します

立候補者がどんな人、どんな考えをもっている人かを参考にして選んでください。

遊佐町少年議員公選投票のおしらせ

投票期間／6月12日(月)～16日(金)

開票日／6月17日(土)14:00～ 遊佐町生涯学習センター

学校	投票日	学校	投票日
遊佐中学校	6月13日(火)	遊佐高校	6月13日(火)

※酒田管内の高校の投票日に関しては、担当の先生の指示に従って下さい。

※各学校の投票日に投票できなかった人は遊佐町生涯学習センターで投票できます。
(午前8時30分～午後9時まで)

遊佐町少年町長立候補者・当選者

定数一名に対して立候補者が一名でしたので、当選と決定しました。

少年町長



酒田南高校1年

地区
高瀬

さとう
佐藤
かえで
楓

昨年も少年議員として活動し、
その中でも「ゆざマルシェ」が印象に残っています。
「遊佐の魅力発掘」を軸に開催しましたが、
私自身も活動を通して遊佐の魅力を発掘しながらの開催でした。
今年は遊佐町の魅力を見つけてもらえるような活動は継続しつつ、
さらに遊佐町を魅力的にする活動をしていきたいと思い、
今期少年町長に立候補しました。

遊佐町少年議員・立候補者

 <p>遊佐中学校 1年 (地区●福川) いしがき れい 石垣 零 新しいことに挑戦してみたい。遊佐町をどんどん積極的に良い方に変えたい。遊佐の豊かな自然を守って、県外から来た人や、遊佐以外の地域から来た人も楽しんで暮らせるような町にしたいと思い、立候補しました。</p>	 <p>遊佐中学校 1年 (地区●福川) こくぶん いつみ 國分いつみ 僕が少年議会に入ったら、遊佐町を綺麗で楽しい町になるようにたくさん提案していきたいです。また、一緒に活動するメンバーと協力して活動していきたいです。</p>
 <p>遊佐中学校 1年 (地区●隈岡) さとう そうた 佐藤 颯汰 遊佐町に革命を起こす！大人では通らない意見も、少年議会を通して中高生の意見を伝えていきたいです。遊佐町に貢献し、貴重な出会いをしたいです。</p>	 <p>遊佐中学校 1年 (地区●吹浦) はたなか あきら 畠中 彪良 チラシにあるように、今自分達しかできないことは沢山あると思います。そういったことを積極的に取り組んでいきたいです。生半可な気持ちでは挑めないことだと思うので、真摯に取り組みたいです。何卒よろしくお願ひします。</p>
 <p>遊佐中学校 2年 (地区●福川) えんた まなか 遠田 愛果 去年少年議員として活動して、遊佐町の魅力を知ることができ、もっと広めたい気持ちが強くなりました。活動にも積極的に参加したいです。</p>	 <p>遊佐中学校 3年 (地区●高瀬) さとう ひろと 佐藤 大斗 今年度で二回目の少年議会への参加になります。昨年度は高校生に頼ってばかりだったので、今年度は遊佐町をよりよくできるような案を出せるように頑張りたいです。</p>
 <p>遊佐高校 1年 (地区●遊佐) いしだ みづき 石田 美月 私は県外から来たので、遊佐町について知らないことばかりです。そのため、少年議会を通して遊佐町について学んでいきたいと思っています。そして、遊佐をもっと盛り上げ、良い町にしていきたいと思っています。</p>	 <p>遊佐高校 1年 (地区●酒田市) こたま ひかる 小玉ひかる 私はこの高校に入る前から、遊佐町で少年議会が行われていることを知っていました。絶対にチャレンジしてみたいと思っていました。この活動で私は遊佐町に貢献できたらいいなと思い立候補しました。</p>
 <p>遊佐高校 1年 (地区●酒田市) さとう のどか 佐藤 和香 この少年議会を通して様々な人たちと意見交換をし、さらに遊佐町全体を県外に広めたいと思います。そして、様々な大人の人たちと関わっていきたくです。</p>	 <p>遊佐高校 1年 (地区●遊佐) ながはら たびと 永原たびと 僕は中学校で、地域の魅力を地域外に発信する取組みをしてきました。その経験を少年議会で活かせると思ったので立候補しました。シカの角切やサケのつかみ取りなど、遊佐でしかできないことに挑戦し、遊佐の魅力をさらに知る機会になったら良いなと思います。</p>
 <p>遊佐高校 1年 (地区●隈岡) まつもと なおや 松本 直也 私には、小さい頃からお世話になっている遊佐町に恩返しをしたいという思いがあります。そんな私ができることは、遊佐町を更に盛り上げることだと思います。そこで出会ったのがこの少年議会でした。自分に出来ることを精一杯頑張りますのでよろしくお願ひします。</p>	 <p>遊佐高校 1年 (地区●遊佐) やすおか みゆき 安岡 心結 私が少年議員になったら、「自分にできることを私達自身のために」ということをまずは一番大切にして、多くのことに挑戦したいと考えています。たくさんの方との関わりや出会いを大切に、企画を積極的に考え、取り組んでいきます。よろしくお願ひします。</p>
 <p>遊佐高校 1年 (地区●遊佐) やまぎし じろう 山岸 慈雨 少年議会で活躍している人がかっこいいと思ったから立候補しました。自分も少年議会のメンバーになって、遊佐町の全ての年代の人たちが楽しく暮らせるようにしたいと思っています。また、様々な人々と会話し、その経験を将来活かしたいと思っています。</p>	 <p>遊佐高校 2年 (地区●遊佐) おかべ りりか 岡部里々歌 昨年度は入っていなかったのですが、少年議会に入っていた友達の充実している姿を見て、素敵だと思い立候補しました。少年議会に入ったら話し合いに積極的に参加し、様々なことに挑戦していきたいです。地域に貢献できるよう、自分にできることを精一杯頑張りたいです。</p>
 <p>遊佐高校 2年 (地区●遊佐) なかがわ うたの 中川 詩野 前回に引き続き立候補させていただきました。今回も仲間とともに遊佐町をもっと元気にできるように頑張りたいです。また、私は高校から遊佐町に来ていて、その前は東京に住んでいました。遊佐と県外の2つの視点から、遊佐の魅力化に貢献していきたいです。</p>	 <p>遊佐高校 3年 (地区●遊佐) かたやま さくら 片山 櫻 私は今期で3期目の参加になります。そして、高校3年生なので最後の参加になります。今期ではコロナ対策の緩和に伴い、遊佐の良さである、あたたかい人と人とのつながりを感じられるようなイベントをできたらと思っています。昨年までの経験を活かし、有意義な活動にしていきたいです。</p>



遊佐町少年町長・少年議会広報

明日の遊佐町に、ほくたちは、わたしたちは、提案します

第21期少年町長・副町長・議員・監査・事務局長・事務局次長など 議会構成のお知らせ

※各立候補者の選挙後に確定した役職のみを公開致します。
得票数の公開は致しませんので、ご了承ください。

遊佐町少年町長・副町長

少年町長



酒田南高校1年

(地区●高瀬)

さとう かえで

佐藤 楓

昨年も少年議員として活動し、その中でも「ゆざマルシェ」が印象に残っています。『遊佐の魅力発掘』を軸に開催しましたが、私自身も活動を通して遊佐の魅力を発掘しながらの開催でした。今年は遊佐町の魅力を見つけてもらえるような活動は継続しつつ、さらに遊佐町を魅力的にする活動をしていきたいと思い、今期少年町長に立候補しました。

少年副町長



遊佐高校2年

(地区●遊佐)

なかがわ うたの

中川 詩野

前年に引き続き立候補させていただきました。今回も仲間とともに遊佐町をもっと元気にできるように頑張りたいです。また、私は高校から遊佐町に来ていて、その前は東京に住んでいました。遊佐と県外の2つの視点から、遊佐の魅力化に貢献していきたいです。

◎少年町長・少年議員の活動内容は、遊佐町HPからご覧になれます!!

<http://www.town.yuza.yamagata.jp/>

●遊佐町少年町長・少年議員公選事業事務局 ●遊佐町教育委員会教育課社会教育係

〒999-8301 遊佐町遊佐字鶴田52-2 遊佐町生涯学習センター内

Tel.0234-72-2236 Fax.0234-71-1222 Mail.youthgikai@town.yuza.lg.jp

遊佐町少年議員



遊佐中学校 1年 (地区●稲川)

いしがき れい
石垣 零

新しいことに挑戦してみたい。遊佐町をどんどん積極的に良い方に変えたい。遊佐の豊かな自然を守って、県外から来た人や遊佐以外の地域から来た人も楽しんで暮らせるような町にしたいと思い立候補しました。



遊佐中学校 1年 (地区●稲川)

こくぶん いつみ
國分いつみ

僕が少年議会に入ったら、遊佐町を綺麗で楽しい町になるようにたくさん提案していきたいです。また、一緒に活動するメンバーと協力して活動していきたいです。



遊佐中学校 1年 (地区●藤岡)

さとう そうた
佐藤 颯汰

遊佐町に革命を起こす！大人では通らない意見も少年議会を通して中高生の意見を伝えていきたいです。遊佐町に貢献し、貴重な出会いをしたい。



遊佐中学校 1年 (地区●吹浦)

はたなか あきら
畠中 彪良

チラシにあるように、今自分たちにしかできないことは沢山あると思います。そういったことを積極的に取組んでいきたいです。生半可な気持ちでは挑めないことだと思うので、真摯に取組みたいです。何卒よろしくをお願いします。



遊佐中学校 2年 (地区●西遊佐)

えんた まなか
遠田 愛果

去年少年議員として活動して、遊佐町の魅力を知ることができ、もっと広めたい気持ちが強くなりました。活動にも積極的に参加したいです。



遊佐中学校 3年 (地区●高瀬)

さとう ひろと
佐藤 大斗

今年度で二回目の少年議会への参加になります。昨年度は高校生に頼ってばかりだったので、今年度は遊佐町をよりよくできるような案を出せるように頑張りたいです。



遊佐高校 1年 (地区●遊佐)

ながはら たびと
永原たびと

僕は中学校で、地域の魅力を地域外に発信する取組みをしてきました。その経験を少年議会で活かせると思ったので立候補しました。シカの角切やサケのつかみ取りなど、遊佐でしかできないことに挑戦し、遊佐の魅力をさらに知る機会になったら良いと思います。



遊佐高校 1年 (地区●藤岡)

まつもと なおや
松本 直也

私には、小さい頃からお世話になった遊佐町に恩返しをしたいという思いがあります。そんな私ができることは、遊佐町を更に盛り上げることだと思います。そこで出会ったのがこの少年議会でした。自分でできることを精一杯頑張りますのでよろしくをお願いします。



遊佐高校 2年 (地区●遊佐)

おかべ りりか
岡部里々歌

昨年度は入っていなかったのですが、少年議会に入っていた友達の充実している姿を見て、素敵だと思い立候補しました。少年議会に入ったら話し合いに積極的に参加し、様々なことに挑戦していきたいです。地域に貢献できるよう、自分にできることを精一杯頑張りたいです。



遊佐高校 3年 (地区●遊佐)

かたやま さくら
片山 櫻

私は今期で3期目の参加になります。そして、高校3年生なので最後の参加になります。今期ではコロナ対策の緩和に伴い、遊佐の良さである、あたたかい人と人とのつながりを感じられるようなイベントをできたいと思っています。昨年までの経験を活かし、有意義な活動にしていきたいです。



遊佐高校 1年 (地区●酒田市)

こだま ひかる
小玉ひかる

私はこの高校に入る前から、遊佐町で少年議会が行われていることを知っていて、絶対にチャレンジしてみたいと思っていました。この活動で私は遊佐町に貢献できたらいいなあと思い立候補しました。

少年監査



遊佐高校 1年 (地区●酒田市)

さとう のどか
佐藤 和香

この少年議会を通して様々な人たちと意見交換をし、さらに遊佐町全体を県外に広めたいと思います。そして、様々な大人のみなさんと関わってみたいです。

少年監査



遊佐高校 1年 (地区●遊佐)

やすおか みゆう
安岡 心結

私が少年議員になったら、「自分にできることを私自身のために」ということをまずは一番大切にして、多くのことに挑戦したいと考えています。たくさんの方との関わりや出会いを大切に、企画を積極的に考え、取組んでいきます。よろしくお願いします。

少年事務局長



遊佐高校 1年 (地区●遊佐)

いしだ みつき
石田 美月

私は県外から来たので、遊佐町について知らないことがばかりです。そのため、少年議会を通して遊佐町について学んでいきたいと思っています。そして、遊佐をもっと盛り上げ、良い町にしていきたいと思っています。

少年事務局次長



遊佐高校 1年 (地区●遊佐)

やまぎし じゅう
山岸 慈雨

少年議会で活躍している人がかっこ良いと思ったから立候補しました。自分も少年議会のメンバーになって、遊佐町の全ての年代の人たちが楽しく暮らせるようにしたいと思っています。また、様々な人たちと会話し、その経験を将来活かしたいと思っています。

少年事務局次長

第7期少年議会で誕生した米〜ちゃんファミリー



ライちゃん

遊田

まんまママ

わらそう

遊米

第 21 期 少年議会メンバー

少年町長

1.	佐藤 楓 (さとう かえで)	酒田南高等学校 1 年	高瀬
----	----------------	-------------	----

少年副町長

1.	中川 詩野 (なかがわ うたの)	遊佐高等学校 2 年	遊佐
----	------------------	------------	----

少年議員

1.	石垣 零 (いしがき れい)	遊佐中学校 1 年	稲川
2.	國分 いつみ (こくぶん いつみ)	遊佐中学校 1 年	稲川
3.	佐藤 颯汰 (さとう そうた)	遊佐中学校 1 年	蕨岡
4.	畠中 彪良 (はたなか あきら)	遊佐中学校 1 年	吹浦
5.	遠田 愛果 (えんた まなか)	遊佐中学校 2 年	西遊佐
6.	佐藤 大斗 (さとう ひろと)	遊佐中学校 3 年	高瀬
7.	永原 たびと (ながはら たびと)	遊佐高等学校 1 年	遊佐
8.	松本 直也 (まつもと なおや)	遊佐高等学校 1 年	蕨岡
9.	岡部 里々歌 (おかべ りりか)	遊佐高等学校 2 年	遊佐
10.	片山 櫻 (かたやま さくら)	遊佐高等学校 3 年	遊佐

少年監査

1.	小玉 ひかる (こだま ひかる)	遊佐高等学校 1 年	酒田
2.	佐藤 和香 (さとう のどか)	遊佐高等学校 1 年	酒田

少年事務局長

1.	安岡 心結 (やすおか みゆう)	遊佐高等学校 1 年	遊佐
----	------------------	------------	----

少年事務局次長

1.	石田 美月 (いしだ みづき)	遊佐高等学校 1 年	遊佐
2.	山岸 慈雨 (やまぎし じゅう)	遊佐高等学校 1 年	遊佐

遊佐町少年議会 アンケート

遊佐町のこれからのまちづくりのために、中学生・高校生のみなさんの考えをお寄せ下さい！
少年町長・少年議員にあなたの意見をとどけましょう！

1-1. 遊佐町にどんな町になってほしいですか？

例) ○○な町、△△がある町 など



2-1. 遊佐町は若者の想いや声を取り入れたまちづくりをしていると思いますか？

- ・とても思う
- ・思う
- ・あまり思わない
- ・思わない

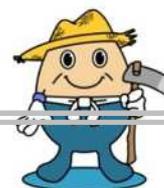
2-2. そのように思った理由があればご記入下さい。



3-1. あなたは今までの少年議会の活動について何か知っていますか？

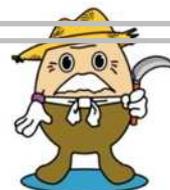
- ・知っている
- ・知らない

3-2. 「知っている」と答えた人にお尋ねします。どの活動が一番印象に残っていますか？



少年議会に何をしてほしいですか？

4-1. 遊佐町で行ってほしいイベントはありますか？



4-2. 遊佐町につくってほしいものはありますか？

4-3. 少年議会と一緒に活動してみたいことはありますか？



☺ご協力ありがとうございました。

☺今後の少年議会の活動に、ご協力と応援をお願いいたします。

第 21 期少年議会アンケート集計

1-1. 遊佐町にどんな町になってほしいですか？

1-1	内容
スポーツが活発な町	若者が中心となってにぎわう町
町内外に広く発信できる町	優しい人や魅力で溢れている町
店がたくさんある町	観光客がたくさん来る町
楽しい町、明るい町	みんなが幸せで暮らしやすい町
自然豊かで人気のある町	安全で清潔な町
あいさつや思いやり溢れる町	多様性を尊重できる町
安心して子育てができる町	イベントが盛んな町
中心部以外にもお店がある町	自然を守ることが出来る町
将来性のある町	年齢問わず集まれる場所がある町
地域の人との関わりが深い町	町外の人にも優しい町
今の遊佐町が好き	中高生の居場所が欲しい
施設を増やしてもう少し都会な町	3000年の歴史、国として独立する
住民の意見が通りやすい町	新しい事をどんどん取り入れる町
若者が戻って来たいと思える町	娯楽施設が充実している町

2-1. 遊佐町は若者の想いや声を取り入れたまちづくりをしていると思いますか？（あてはまるものに○をつけてください。）

2-1	票数	割合
とても思う	127	25%
思う	248	48%
あまり思わない	104	20%
思わない	29	6%
無回答	5	1%

2-2. そのように思った理由があればお答えください

2-2	内容
とても思う	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートを取っている事や、くじらなども含め、町と関わる機会が多いと感じるから ・地区運動会など若者が活躍できる場を設けてくれているから ・少年議会があるから、またテレビ等で少年議会が取り上げられることもあったから ・子ども達の遊び場が多く設置されているから ・パノラマパークにバスケットゴールなどが作られたから。
思う	<ul style="list-style-type: none"> ・取り入れていなければもっと住みづらくなっていると思うから ・少年議会以外でも若者の意見を聞く場を設けて欲しい ・子どもの意見だけを聞くと遊佐町の良さは消えてしまうから、今のくらいがちょうどよい ・県外から移住してきている人も知り合いに多くいるのは、若者の意見を取り入れているからではないのか。
あまり 思わない	<ul style="list-style-type: none"> ・あまり町に関わる場面があまりない ・若者向けの店がない ・町や少年議会の活動自体も、若者向けに情報発信をしていないからわからない。 ・街路灯などの実績はあるが、町への要望の多くが却下されている印象がある
思わない	変わったと感じない
無回答	わからない、情報が伝わってこない

3-1. あなたは今までの少年議会の活動について何か知っていますか？

3-1	票数（計 453 票）	割合
知っている	114	25%
知らない	328	72%
無回答	11	3%

3-2. 「知っている」と答えた人にお尋ねします。どの活動が一番印象に残っていますか？

3-2	票数
ベンチ製作	40
米～ちゃん誕生	28
ゆざっこかるた	18
ゆざマルシェ	
町のために会議や政策で活動していること	7
町体の階段	4
鈴木福くんと TV 出演	3
特産品開発、鮭のつかみどり、町内のイベント参加、街路灯の設置	2
宝探し、町の名産品レシピ、ソーデーマーチへの参加、視察研修	1

4-1. 遊佐町で行ってほしいイベントはありますか？

4-1	票数	内容
祭	55	
イベント①	23	年齢問わず楽しめるもの
スポーツ大会	13	
イベント②	8	自然を活かしたもの
イベント③	5	遊佐の中高生が交流できるもの
フェス	5	プロの歌手を呼んで開催
その他 (3票)		米作り・米に合うもの選手権、遊佐駅やSNSを用いて遊佐町を紹介・発信するもの、空き校舎の利活用、雪合戦、世代を問わない交流会、清掃等のボランティア、フリマ・マルシェ、花火大会、スイーツ、食べ放題
その他 (2票)		世界中のお菓子が並ぶもの、肉フェス、芋煮会、さくらんぼ種飛ばし大会、食品開発、ツーデーマーチ、外国との交流
その他 (1票)		写真王、学習会、つり大会、博物館、イルミネーション、SDGs、観光地スタンプラリー、YouTuberとの共演、サイクリング、駅伝、アイドルイベント、米〜ちゃん関連、電車運賃負担キャンペーン

4-2. 遊佐町につくってほしいものはありますか？

4-2	票数	内容
飲食店	47	カフェ (9)、スタバ (6)、マック (4)、ファーストフ

		ード (3)、サイゼリア (2) スイーツ専門店、いちご畑、ホットモット、 雰囲気の良いレストラン
大きな建物	31	遊園地 (7)、映画館 (6)、図書館 (2)、ドーム (2)、プール、ヤマダ電機、スーパー、ボーリング場、博物館、ユニバ、ディズニー、商店街、コストコ、農機具ショップ、 ラウワン、セリア
趣味の店	30	ゲームセンター (6)、カラオケ (6)、アニメイト (4)、ヴィレッジヴァンガード (3)、本屋 (2)、お土産屋 (2)、お菓子屋、釣り堀、カードショップ、K-POP を取り扱う店、ファンシーショップ、服屋、ポケモンセンター
コンビニ	28	セブン・ローソン
大型店舗	24	アウトレット・ショッピングモール
若者が集まれる場	24	大きな公園 (9)、ゲームやお菓子を食べながら遊べる施設 (3)、遊具 (3)、中学生だけで集まれる施設、若者コイコイ
スポーツが楽しめる施設	13	バスケットコート (3)、スキー場 (2)、スポッチャ、競技場、水上アスレチック、野球場、バッティングセンター、鉄棒、幼児向け施設
勉強できる場所	8	自習室
どの世代でも集まれる場	7	どの世代でも楽しめるイベント、全ての地域に需要のあるもの、みんなが出入りしやすい施設

空き校舎利 活用	7	フリースペース、スポーツ施設
遊佐町紹介	6	タウンマップ、完工マップ、丸池様がわかりやすい看板
その他(3票)		プリクラ、街路灯(指定なしのため不明)、自販機(十里塚地区に100円自販機が欲しい)
その他(2票)		ジム、動物と触れ合える場所
その他(1票)		米〜ちゃんの銅像、ミラー(遊佐保育園から遊佐高校へ入る道で死角となっており危ない)、信号機(指定なし)、遊佐中公式YouTube

4-3. 少年議会と一緒に活動してみたいことはありますか？

4-3	票数	内容
イベント	23	祭(5)、鬼ごっこ(2)、駅前イベント、夏祭り、マルシェ、楽しいこと、町長の誕生日会、重機の展示会、文学祭、運動会、スイーツ、海イベント、BBQ、運営・司会、レクリエーション、いろいろな店の試食
ボランティア	22	ゴミ拾い、草むしり、町のためになること、海岸清掃
～大会	5	遊佐町クイズ、釣り、ドッジボール、花火、スポーツ
何でも	5	少年議会と何でもやってみたい
交流	4	意見交換会
その他		いちご畑、各集落の活性化、勉強会、SNS発信(YouTube等で)、夢の国、ツーデーマーチに少年議会と参加、鮭のつかみどり、鹿の角切り

第21期少年議会 一般質問(町への要望)・政策提言

施政方針：惹^ひかる遊佐町～つなげる遊佐町、つづく遊佐町^{みらい}～

役職	氏名	内容区分	内容主旨
少年議員	畠中 彪良	一般質問 (町への要望)	遊佐町に人を呼び込むツアー
少年議員	遠田 愛果		
少年監査	佐藤 和香		
少年議長	片山 櫻		
少年議員	永原 たびと		パブリカの活用方法の拡大
少年議員	松本 直也		
少年町長	佐藤 楓		空き校舎の利活用方法の話し合いの場
少年事務局 局長	安岡 心結		
少年事務局 次長	石田 美月		
少年事務局 次長	山岸 慈雨		遊佐町の祭の開催状況について
少年副議長	岡部 里々歌		
少年監査	小玉 ひかる	少年議会独自の 政策提言	遊佐町の伝統を扱うイベントを開催
少年副町長	中川 詩野		
少年議員	石垣 零		世代間交流を目的とした清掃イベントの開催
少年議員	國分 いつみ		
少年議員	佐藤 颯汰		
少年議員	佐藤 大斗		

少年議会

政策 提言



【 施政方針・一般質問・政策提言 】

令和5年8月24日(木) 第2回少年議会

施政方針

少年町長 佐藤 楓

「^ひ惹かる遊佐町～^{いま}つなげる遊佐町、^{みらい}つづく遊佐町～」

第2回少年議会を開催するにあたり、施政方針を申し上げます。

第1回少年議会以降、全員協議会を開催し、「遊佐町少年議会アンケート」として行った若者の意見調査の集約結果などをもとに、今期の活動目標・活動内容を協議してきました。

その結果を踏まえ、第21期少年議会では、「^ひ惹かる遊佐町～^{いま}つなげる遊佐町(いま)、^{みらい}つづく遊佐町(みらい)～」をコンセプトとして、活動していきます。

アンケートでは、遊佐町にどんな町になってほしいか？という質問に対して、「人と人の関わりが深い町」、「伝統を大切に作る町」という意見が多くありました。遊佐町は若者の想いや声を取り入れたまちづくりをしていると思いますかという質問では、「とても思う」、「思う」と回答した人が全体の約73%いました。しかし、遊佐町少年議会の今までの活動内容を知っていると答えた人は、全体の25%しかいませんでした。これはまだまだ少年議会の周知が足りていないということが分かる結果でした。

そこで、第21期少年議会では、自分たちの暮らす遊佐町を私たち若者が暮らしやすい町にする為、遊佐町の若者代表として活動し、少しでも若者の目指す遊佐町に近づくため、少年議会らしい「まちづくり」を行っていきます。

また、今年度、少年議会は第21期を迎えました。歴代の少年町長・少年議員の活動を振り返り、意思を引き継ぎながら、新しい活動も検討していきます。少年議会の活動は、町民の皆さんと有権者の中高生のご理解やご協力がなくては進めることはできません。皆さんと力を合わせて取り組んでいきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

以上を、今年度少年議会の施政方針とします。

一般質問

少年議長 片山 櫻

私は少年議員の遊佐高校3年片山櫻です。私は、自然の豊かさや人の暖かさなど、遊佐町の素敵な環境を活かしたツアーの開催を提案します。情報発信だけでなく、実際に現地に来てもらうという形をとることで、遊佐の魅力を余すことなく肌で感じてもらえると思います。

昨年、高校の総合的な探究の時間という授業で「遊佐町の残したいもの」をテーマに学習しました。私はそこで、遊佐の綺麗な星空を観光資源として活かし、地域活性化を図りたいと思い活動しました。町内外に向けたアンケートを行い、需要がありそうだということが分かったので、町役場の観光部署の方々にヒアリングを行った際、一緒にモニタツアー案を作成しました。とても前向きに考えて下さり、来年度の少年議会で提案するお約束をしました。

その昨年の活動を活かし、星空だけに焦点をあてず、今回は広く遊佐の環境を町外にアピールできるツアーを開催できたらと思っています。ツアーの形としては、グリーンツーリズムやウェルネスツーリズムなどがありますが、ローカルツーリズムなんかがいいんじゃないかなと思っています。県外生という視点から見て、星空を始めとした豊かな自然であったり、地元では感じられなかった人の暖かさであったり、遊佐には多くの魅力があります。私だけでなく、多くの方が感じていることだと思います。

以上のことから、遊佐町の素敵な環境を活かしたツアーの開催を提案します。提案で終わらずに、もし良かったら私たち少年議会も一緒に企画して作っていただけたらなと思っています。ツアーをきっかけとして関係人口が増え、遊佐の魅力がさらに広まることで、遊佐町の課題解決に繋がることを期待しています。

一般質問

少年議員 畠中 彪良

私は、少年議員の畠中彪良です。私たち少年議会は「移住者を呼び込む方法」について要望します。

皆さんもご存知かと思いますが、今の遊佐町の人口は日々減り続けています。私は親友から「自分の集落では1週間に1回は何処かで葬式をしている。」と言われた事もあります。

この終わらない人口減少を食い止める為には移住者を更に呼び込まなければいけないと思います。その為にはもっと移住者にとって魅力的な町にしなければいけません。そして移住者にとっての「魅力」とは、自然が豊かな事では無い場合もあります。

そこで、その人に合わせた魅力を紹介するツアーなどを行うことが必要だと私は考えます。上述の理由から、移住を考えている人に魅力を伝えるツアーの実施を要望します。

一般質問

少年議員 遠田 愛果

私は遊佐中学校2年の遠田愛果です。私は遊佐町の魅力を県外に伝えるツアーについて要望します。

私は遊佐町の魅力を伝えるためには体験型ツアーがいいと思います。例えば遊佐の郷土料

理や、なでぼうきなどを作って「楽しい」や「また来たい」と思って貰えるような体験をしてもらいたいと思います。

ですが、私たちだけでは限りがあるので遊佐町の関係機関の方々と協力して企画をし、実行出来たら嬉しいです。体験型ツアーを通して県外の人に遊佐町の魅力が伝わって欲しいです。以上のことから私は遊佐町の魅力を県外に伝えるツアーについて要望します。

一 般 質 問

少年監査 佐藤 和香

私は遊佐高校1年の佐藤和香です。私は「遊佐町に人を呼び込むツアー」について要望します。遊佐町には自然がたくさんあり、なかでも農産物もゆたかな町なので、そういったところ遊佐町の特徴をアピールできると考えています。

私は、農家さんたちから協力を頂いて、農産物収穫ツアーなど非日常的な体験をできるツアーがあったらいいと思います。ただ観光に来てもらっても良いとは思いますが、せっかくなら地域の方との関わりや、体験を通して遊佐町の魅力を感じてもらえるとさらに良いのではないかと考えています。そして、「また来たい」「移住したい」と思ってもらえたら遊佐町の関係人口の増加にも繋がると思います。

遊佐町には、国指定重要無形民族文化財の「杉沢比山」や「アマハゲ」などもあります。景観以外にも多くの魅力があり、ポスター・チラシ・SNSなどを使ってもっとPRするべきだと思います。収穫体験だけではなく、こういった町の文化を鑑賞や体験ができるようなツアーを開催することを要望します。

一 般 質 問

少年町長 佐藤 楓

私は少年町長の酒田南高等学校1年生、佐藤楓です。今期、私が遊佐町に対して要望することはパプリカの活用方法をさらに広げることです。これまでの少年議会の活動でも、特産品として加工することが何回かありました。ですがパプリカには遊佐町の特産品以外にも活用方法があると思います。

私たちが今のところ思いついている活用方法は二つあります。

1つ目は遊佐町や近隣の市や町の料理店から遊佐町のパプリカを使ってもらうことです。これまでの少年議会の活動から感じたことですが、パプリカはお菓子などにするにはあまり向いているとは言えません。ですが、スープやサラダ等では更に深みのある味になったり、彩りがきれいになることがパプリカの利点と言えます。パプリカを使ってもらおうお店には、最初にお試し期間としてB品や規格外品を使ってもらい、普通よりも安く提供し、その代わりに、メニュー表に記載してもらおうなど遊佐産であることを宣伝してもらおうと考えています。その後その料理店が正式にパプリカを使うようになったら正式な値段で品質の良い新鮮なパプリカを提供する方法を取るのはいかがでしょうか。これは長い目で見なければいけません。少年議会は任期が一年なのでこの取り組みをしようとするとう無理があります。そのため、町の方で企画提案をしてもらいたいです。

2つ目です。2つ目は活用方法と言うより、活用方法を「見つけてもらう」取り組みです。遊佐町や酒田市、鶴岡市などの庄内地方に住む中高生を対象としてパプリカの調理方法を考えて作ってみる長期イベントを開催するというものです。例えば二週間に一度遊佐町の生涯

学習センターでいくつかの班に別れパプリカの調理方法を考え、考えがまとまってきたら実際に班ごとに作ってみるという開催方法があります。このイベントをもしするとなったら来年になります。ですがその頃になったら少年議会はメンバーが変わっています。ですのでこのイベントも町のほうで開いてほしいと考えています。

今期の施政方針は「惹かる遊佐町～つなげる遊佐町（いま）、つづく遊佐町（みらい）～」です。遊佐町はパプリカの生産者数が日本一多い町として有名でした。そういったプラスの要素は「今」だけではなく、これからの「未来」にも続けていくべきだと私は思います。そのための取り組みとしてパプリカの可能性を広めていく必要があると考え、要望としました。遊佐町のために、遊佐町（みらい）のためによろしく願います。

一 般 質 問

少年議員 永原 たびと

私は少年議員の遊佐高校1年生の永原たびと申します。私は、遊佐町名産のパプリカの利活用方法について要望を出したいと考えています。

この要望を提出した理由は、遊佐町のパプリカをもっと多くの人に知ってもらい、消費してもらいたいという思いからです。実際に遊佐町は山形県でパプリカを生産者数が日本一であったという実績があります。

しかし、パプリカ自体が苦手な人が多いことも事実で、特に若者や私の友人の中にもパプリカが苦手な方が少なくありません。そこで、特に中高生向けにパプリカを題材にしたイベントを開催したり、遊佐町の料理店でパプリカを提供するなど、パプリカの良さを発信できる機会を増やしたら良いのではないかと考えています。これは街の活性化にも繋がりますし、イベントはパプリカの周知に最適だと思っています。以上のことから、パプリカの利活用方法について要望したいと思います。

一 般 質 問

少年議員 松本 直也

私は遊佐高校1年の松本直也です。私は遊佐町のパプリカブランドを広めることを通して、県外の人に「遊佐町自体」をさらに知ってもらうことができるのではないかと、思いこのテーマにしました。

パプリカを通してとは言ったものの、パプリカは苦手な人が多いイメージがあります。実際に言うとは自分も好きと言うわけではなく、かと言って嫌いでもありません。ですが、パプリカには生活習慣病の予防や、免疫機能向上、美肌効果などがあります。ですが、その効果があるとわかって、好きになるという人は少ないと思います。せっかく遊佐の特産品であるパプリカをもっと有効に使えないかと私たちのグループで考えました。私が考えたのは、まず近場からパプリカを広めていこうということです。

具体的には二つあり、一つはパプリカを生かした調理方法を中高生で考えるイベントをすることです。まず遊佐町民が遊佐町の特産品であるパプリカのことを知らなくてはなりません。なので遊佐の若者である私たちが、パプリカを生かした調理方法を考え広めていきたいと思っています。

もう一つは遊佐産のパプリカを置いていない店に置かせてもらうことです。遊佐や酒田のお店にお試しで安く販売してもらい、好評であれば定価で販売してもらうというものです。

特に酒田は県外の人も多く、効果はあると思いこの考えを出しました。

遊佐で作っているパプリカは栽培方法に力を入れており、環境保全型栽培を意識しています。収穫量や病害虫に悩まされることが多いこの栽培方法ですが、こんな厳しい環境の中で育ったパプリカは、他のパプリカよりも特別に美味しいと思います。私たちもできる限り協力していきたいと思っていますので、ご検討の方よろしく申し上げます。

一般質問

少年事務局長 安岡 心結

私は、少年事務局長の高校一年、安岡心結です。私は、空き校舎の利活用方法について要望します。使われなくなってしまった、スペースを町の人々の憩いのスペースとして変えることができれば良いと考えます。

先月、私と美月さんと、遊佐町の駅前1区の子供達を対象に子ども食堂を開催させていただきました。そこで、空き校舎になってしまった校舎の利用を検討しましたが、まだ高校生である私たちには利用することが難しく、また、車が運転できない私たちにとってアクセスが悪かったりと、上手く活用することができませんでした。

誰もが簡単に、楽しめる場として、活用できるようにするために、まずはどのような形で活用していくのかを話し合う場を設けることが必要だと感じました。小学生から、シニアの方々までを集め、空き校舎の利活用方法を模索することができたら、年代によって、さまざまなアイデアが出され、貴重な交流の場となり活気あふれる会となると思います。

私たちが考える、具体的な利活用方法は、リノベーションをし、宿泊施設としたり、もともと教室であった一部屋一部屋をお店としたりして、立ち寄れる場とするというものです。昔懐かしい学校の風景を感じたり、昔懐かしい給食や、遊佐町の伝統料理などが食べられたりしたら、より楽しいと思います。他にもできたスペースを間借りスペースとして貸し出したりしたら、定期的にお店が変わり、時間が経っても変わらず楽しめたりするのではないのでしょうか？

以上のことから、空き校舎の利活用方法を話し合う場を設けていただくことを要望します。町民からも、外から来てくださった方々からも注目を浴びるそんなスペースとなることを期待しています。

一般質問

少年事務局次長 石田 美月

私は少年事務局次長の石田美月です。私は、小学校の統合により空き校舎となる校舎の利活用について要望したいと思います。使われなくなってしまった校舎はまだ新しいです。そのため、空き校舎を利用し、新しい遊佐町を創っていけたら素敵だなと考えました。

まず、町の高齢者や学生、子育てをしている方などどどのように利活用するか話し合う場を設けると良いと思いました。さまざまな世代で話し合いをして、みんなで創り上げていくのが素敵だと思いました。

そこで、私が考えた利活用方法の例を挙げたいと思います。それは、体験型宿泊施設です。施設内に遊佐の伝統工芸品の遊佐刺し子の展示室や体験ができるスペース、みんなでゆっくりできるシアタールームなどを作りたいと思いました。遊佐刺し子の展示や体験を行うことで、興味を持ってくれる人が増えたらいいなと思いました。

実際に作るにより、その魅力や作ることの大変さを学べると思います。

また、料理教室の開催もいいと思いました。料理教室では、遊佐の特産品のパプリカを使った料理を作り、知ってもらえると思いました。宿泊者だけでなく、町の小中学生などを呼び料理教室を開催するのも良いと思います。

このように利活用することにより、町内外から人が訪れ、遊佐町を盛り上げることができると考えました。以上のことから、私は空き校舎の利活用について話し合いの場を設けていただくことを要望します。空き校舎を利活用し、遊佐町がより良い町になることを期待しています。

一 般 質 問

少年副議長 岡部 里々歌

私は少年議員の遊佐高校2年の岡部里々歌です。私は「祭りの復活」について要望します。ずっと受け継がれてきた祭りがなくなってしまうたり、町の大きなイベントが無くなるのは寂しいと感じたからです。

まず、今まで祭りでやってきたことを受け継いでくれる人を、主に若者に募集するのが良いと思います。そうすれば、その代で途切れることも無く次の世代に受け継ぎやすくなると思うし、若者が遊佐の文化に触れるきっかけにもなり自分の住んでいる町の良さにもっと気づけるのではないかと考えたからです。

以上のことから私は遊佐町の無くなってしまった祭りの復活について要望します。

一 般 質 問

少年事務局次長 山岸 慈雨

私は、遊佐高校一年山岸慈雨です。一般質問のテーマ、祭りの復活について、特に町の盆踊り大会の復活を要望したいと考えています。

私からは、祭りを復活させた時のメリットは、全年代の関わる機会ができるという事です。近年、コロナウイルスや人口が減少している事から、祭りがどんどん減ってしまっていると聞きました。このままでは、今後も少しずつ祭りが無くなってしまい、交流という部分で機会がもっと減ってしまうと思います。

遊佐町を盛り上げるためには、祭りなどのイベントが必要だと思います。町内に住む車を持たない中高生にとっては、町内の祭りは非日常を感じ、町の魅力を肌で感じる事できる数少ない機会だと思います。

祭を開催しなくなってしまった理由は様々あると思います。全部とはいいいません。町民が一つになる盆踊り大会を復活させ、町をさらに活気づくものにしてほしいという事を要望します。

政 策 提 言

少年副町長 中川 詩野

私は遊佐高校2年、中川詩野です。私は今回政策として、「遊佐の日(仮)」を考えました。これは、1日を通して遊佐町の文化を楽しむイベントで、午前中に刺し子の体験、午後には遊佐町の郷土料理を作ります。

このイベントを考えた理由は、遊佐町の伝統を未来に繋げたいと思ったからです。遊佐町には、自然や工芸品や方言、食文化など、昔から愛され、受け継がれてきたものが、今も息づいています。それは、本当にすごいことだと思います。私が生まれ育った東京は、めまぐるしいスピードで変わっていきます。きれいで新しいものに溢れ、でも、同時に失われるものもあります。それは、ものだけではありません。過ごした時間すらも、跡形もなく消えて、自分の知らない場所になってしまったと思うことがあるんです。新しいものも魅力的ですが、ずっと変わらず大切にされてきたものは、それ以上の価値があると、私は思います。だからこそ私は、遊佐町に残る素敵なものを、これからに繋げたいと思いました。

私はこの政策を通して、もっと多くの方に遊佐町を「惹かる遊佐町」だと感じてほしいです。

政 策 提 言

少年監査 小玉 ひかる

私は遊佐高校1年の小玉ひかるです。私からは、今年度の政策の一つである「伝統を扱うイベントについてお話したいと思います。

この政策の内容は、遊佐の伝統を未来に繋げる為にも、イベントをとおして人と人との交流を深めつつ、午前に遊佐の伝統工芸品を体験でき、午後には遊佐の郷土料理である、例えば「にくまき」や「しそまき」などといったものを食べることができるイベントを開催したいと思っています。

このイベントを開催する事によって、遊佐の伝統の良さを参加した人たちに感じてもらい、またSNSなどで発信してもらおうなどし、PRすることでさらに遊佐町に来る人を増やすことが出来ると思います。政策の実現に向けて、メンバー一丸となって政策を進めて行きたいです。

政 策 提 言

少年議員 佐藤 大斗

私は少年議員の佐藤大斗です。今年度の政策としてスポゴミを開催したいと考えています。

スポゴミとはチームで町中に落ちているゴミをどれだけ拾えるかを競うスポーツです。これを開催したい理由は、楽しくゴミ拾いができ、他の人との交流もできるからです。遊佐町にたまに空き缶やペットボトルが道に捨てられていることがあります。それを見て、スポゴミをして町を綺麗にしたいという思いもあります。

このイベントを通して、町の人にはポイ捨てをしないという意識が生まれたり、改めて町を知ることができるなど、様々なメリットがあると考えています。

今後の少年議会の活動で内容を固めていき、政策実現に向けて頑張っていきます。

政策提言

少年議員 石垣 零

私は遊佐中学校1年の石垣零です。今年度の2つの政策のうちの1つである、清掃イベントについてお話しします。

私はスポーツゴミ拾いのテーマについて、町の環境や、中高生へのメリットを考えました。町にとっては、開催することで単純に町が綺麗になります。また、そういった活動をしていることを町内や町外へ発信することで認知度や好感度もあがってくると思います。

次に、私たち中高生へのメリットです。メリットは、学校へ、自転車通学、バス通学、時には車で行く場合があります。その時にゴミがあると車や、バス、自転車の邪魔になったりするのでスポーツゴミ拾いはいいと思いました。

政策の実現に向けて頑張ります。

政策提言

少年議員 國分 いつみ

僕は少年議員の國分いつみです。僕たちが政策として考えているものは、町を使った「スポゴミ」という企画です。

「スポゴミ」とは仲間と一緒に町のゴミをひろい、最終的にゴミを多くひろったチームが勝ちというスポーツです。政策としてこの「スポゴミ」を選んだ理由は二つあります。

一つ目は、この政策をすると単純に遊佐町が綺麗になるからです。町を綺麗にすることで、町のイメージも良くなり、町外からも人もより多く集まると思います。

二つ目の理由としては、この政策を行うことで人との交流や、さらに運動もできることが挙げられます。交流することで人とのつながりも広がり、運動することで健康にもつながります。そして、参加者が多ければ多いほど、町がいきいきすることに繋がります。

以上のことから僕たちはスポゴミを政策として行っていきます。

政策提言

少年議員 佐藤 颯汰

僕は遊佐中学校1年の佐藤颯汰です。僕はみんなで楽しみながら交流できる、スポゴミについてお伝えします。僕は年齢を問わず参加できるイベントを企画したいと思っています。

スポゴミのルールは、集めた重さによってゴミの種類ごとに定められたポイントを獲得。合計獲得ポイントで勝者が決まります。スポゴミでは、年齢や性別に関係なく、チームを組んで協力し合います。中学生や高校生、家族連れ、地域のお年寄りなど、様々な世代と一緒に参加します。

スポゴミの醍醐味（だいごみ）は、スポーツの楽しさと一緒に、ゴミ拾いの重要性や環境保護の意識を高めることができます。そして、町民どうしのコミュニケーションを高める事ができると思います。

僕はスポゴミを通して遊佐町をより素敵な場所にしていきたいと思っています。

少年議会一般質問答弁要旨

第2回少年議会（令和5年8月24日）

質問者	片山 櫻、畠中彪良、遠田愛果、佐藤和香
質問要旨	①遊佐町に人を呼び込むツアーについて
<p>遊佐町には鳥海山を始めとした自然や、人を惹きつける文化、体験などありとあらゆる素材が溢れていますが、そのすべてが町への誘客に活用されているかという点が残念ながらそうではないと思います。我々が普段何気なしに見ている景色や体験していることが、実は人を引き付ける素材なのかもしれません。</p> <p>今回、遊佐町の魅力や伝統文化の体験などを通し、遊佐町に人を呼び込むツアーの実施について提案をいただきました。町としても、交流人口の増加や移住定住の促進については目標にしているところでありますので、是非、少年議会の皆さんや関係する方々と共に検討できればと思います。</p>	

質問者	佐藤 楓、永原 たびと、松本 直也
質問事項	②パプリカ利用方法の拡大
<p>遊佐町のパプリカの利用方法拡大に、様々なご提案をいただき、ありがとうございます。</p> <p>町の特産品であるパプリカは生産者が本場のハンガリーから栽培を学び、品質は全国的にも高い評価を受けております。パプリカドレッシングやジャム、ジュースなど、パプリカの加工品も開発され、道の駅ふらっとや物産展で販売を行ってきました。</p> <p>ご提案の活用方法ですが、料理店に規格外品を試供品として提供し、宣伝効果をねらう取り組みは、お店でメニュー開発するにあたって、安全面や品質が落ちる規格外品は取り扱いが難しいと思われれます。ただ、正規品を取り扱ってもらうために、レシピ開発をレストランに依頼したりなど、パプリカの活用を知ってもらうための取り組みは必要であると考えます。</p> <p>中高生の皆さんが調理方法を考えて作るイベントですが、定期的に生涯学習センターに集まってパプリカの調理方法を考えることも面白いと思います。また、ひとつの手段として、SNSを活用したアンバサダーの取り組みをご紹介します。これは、パプリカのレシピ開発をする人を広く募集して、無料でパプリカを送り、レシピと完成品をインスタグラム等の自己アカウントで公開してもらうという取り組みで、遊佐産パプリカの宣伝効果が見込まれます。</p> <p>町ではこれまで特産品開発を遊佐ブランド推進事業、として行ってきました。地域活性化拠点施設には共同加工場があり、パプリカのレシピ開発が可能です。少年議員の皆様にはぜひ、共同加工場を利用して、新しいパプリカの調理方法に取り組んでいただきたいと思います。</p> <p>町としても今後、若い方の提案を大切にしながら、遊佐ブランドの更なる発展を目指し取り組んでまいります。</p>	

少年議会一般質問答弁要旨

第2回少年議会（令和5年8月24日）

質問者	安岡心結、石田美月
質問要旨	③空き校舎の利活用方法の話し合いの場について
<p>町では、令和5年1月に「遊佐町空き校舎利活用基本計画」をとりまとめました。この基本計画は町と地域の代表者で組織する「空き校舎利活用検討委員会」が作ったもので、利活用の優先順位に基づき、現時点での利活用計画を4つの空き校舎の部屋ごとにまとめた計画です。</p> <p>利活用の優先順位は、1番目が町の事業による利活用、2番目が町以外の公共的な団体による利活用、3番目が民間事業者による利活用です。</p> <p>1番目の町の事業による利活用では、既に各小学校の体育館をスポ少などの団体に貸し出して利用しているほか、老朽化した蕨岡と高瀬のまちづくりセンターを、それぞれ旧蕨岡小学校と旧高瀬小学校に移転するための準備を進めています。また、旧藤崎小学校では調理室を食品加工所として、旧吹浦小学校では小山崎遺跡のガイダンス施設として活用する計画などがあります。</p> <p>一方で、利活用が具体的に決まっていないスペースもありますので、そのようなスペースについては、町の課題解決につながるような利活用のアイデアを募りたいと考えています。具体的には、町の産業課で実施する「若者を中心としたビジネス創出事業」の中で空き校舎利活用に関するワークショップを行い事業の実施に向けた様々なアイデアを募ることを計画しています。</p> <p>是非、少年議会の皆さんからもこのワークショップに参加いただき、中高生の視点からいろいろなアイデアやご意見をいただければと思っています。</p>	

少年議会一般質問答弁要旨

第2回少年議会（令和5年8月24日）

質問者	岡部里々歌、山岸慈雨
質問要旨	④遊佐町の祭の開催について
<p>現在、町民盆踊り大会は大会内容を検討中という形を取らせていただいております。主な原因の一つとして、これまで大会の中枢を担ってきた組織の担い手不足により、大会の運営が難しくなったことが挙げられます。この理由は、これまで大会に出演し大会を盛り上げてくださった団体にも同じことが言えます。どうしても、これまでと同規模の大会を実施する方向で検討していくと、開催まで漕ぎつけられないのが実情です。</p> <p>提案していただいたように、文化の次世代継承のためにも若者の力により祭りを開催していくことについては共感するところです。</p> <p>町をさらに活気づくものにしていくためにも、少年議会の皆さんからも中心となっていただき、今後の開催に向け提言をいただければありがたいと思います。</p>	

少年議会

政策 提言

2

【第21期活動報告・最終提言・次期少年議会に望むこと】

令和5年12月19日(火) 第3回少年議会

全体総括

少年町長 佐藤 楓

私たち第21期少年議会の活動は、6月20日の第1回少年議会から始まりました。今期の少年議会活動を行うにあたり、若者の意見をアンケートという形で調査しました。結果、遊佐町は若者の思いや声を取り入れたまちづくりをしていると答えた人が全体の約73%いましたが、少年議会の今までの活動を知っている人は全体の約25%しかいませんでした。今後さらに有権者にとって印象に残るような活動をする必要があることが分かりました。

第21期少年議会では、「惹(ひ)かる遊佐町～つなげる遊佐町(いま)、つづく遊佐町(みらい)～」を施政方針として活動していきました。この施政方針をもとに活動し、2つの政策を実現しました。

一つ目の政策は、10月9日のスポーツの日に行われた「スポーツゴミ拾い」です。町を綺麗にするという目的と、世代間交流を目的とし、70名もの人が集まりました。二つ目の政策は11月11日に行われた「伝統体験イベント」の開催です。中高生向けに開催され、午前中に遊佐町食生活改善推進協議会を講師に迎え郷土料理を作り、午後からは遊佐刺し子ギルドの方を講師に迎え開催しました。参加者同士の交流も深まり、また若者が経験として得た知識や経験を周知することでさらに遊佐町の伝統をつなげることができたと考えています。

さて、遊佐町少年議会は地域の方々、学校、保護者のみなさまからのご理解、ご協力に支えられ多くの政策を実現してきました。今年度は学校と少年議会活動との両立が難しいながらも、多くのメンバーが活動に参加・出席してくれました。これからも若者の意見や気持ちを大切に少年議会を続けていってほしいと思っています。

以上、第21期少年議会の活動の総括(そうかつ)とさせていただきます。

議 会 報 告

少年町長 佐藤 楓

私は酒田南高等学校1年の佐藤楓です。私は今期、少年町長として活動して、より遊佐町への理解が深まり、そして自分自身成長を感じられる一年となりました。

今期の活動では始めの頃にとった中高生を対象としたアンケートで多く寄せられた意見をもとにスポーツゴミ拾い大会と伝統芸能体験会の2つのイベントを行いました。これらのイベントでは相手に何を伝えたいのか、自分たちは何をを目指しているのかなどの根本的部分を特に意識し、話し合いを進め、開催することができました。スポーツゴミ拾い大会と伝統芸能体験会の2つのイベントを行い、なおかつどちらも本来の目的を見失わず開催へと向かうことができ、私としては少年議会の活動として満足のいくものとなりました。ですが、少年町長としてその役割を全うできたかといえば微妙なところ です。

私はまだ高校一年生です。この1年で活動を次に活かし、また来期少年町長に立候補し遊佐町のために努めていきたいと思 います。

議 会 報 告

少年副町長 中川 詩野

私は遊佐高校2年の中川詩野です。私は今期の少年議会の活動を通して、分かったことがあります。それは、私も好きなことで、誰かの役にたてるということです。

今期の少年議会では、スポゴミと伝統体験のイベントを行いました。どちらも参加者を集める必要があり、私がチラシを書かせてもらえることになりました。私は昔から、絵を描いたり、何か作ったりするのが好きでした。でも、かわりに運動がとても苦手でした。運動会や体育の授業でみんなの足を引っ張るたびに、すごく申し訳ない気持ちになりました。そうやって、小さい頃からなんとなく、私ができないことは、できないとみんなに迷惑がかかるけど、私ができることは、できなくても困らないし、所詮自己満足だと、思ってきました。だからこそ、チラシを任せてもらえたこと、でき上がったチラシを見て、少年議会の仲間が喜んでくれたこと、すごく嬉しかったです。イベントの参加者も無事集めることができました。私のチラシのおかげだなんて思っていませんし、100%みんなの声掛けのおかげですが、その力に少しだけなれた気がします。得意なことを言うのは、苦手なことを言う何倍も勇気がいりますが、今回の経験は、確かに私の勇気になりました。

来年も、私は少年議会に参加するつもりです。来年は高校3年生、少年議会も最後の年です。私は少年町長に立候補しようと考えています。ただ、どんな役職になったとしても、私は私なりに、みんなの力になりたいです。

最後に、私をこの1年間、少年議会のメンバーにしてくれて、ありがとうございました。少年議会に関わってくれた全ての人に感謝します。本当にありがとうございました。

議 会 報 告

少年議長 片山 櫻

私は少年議長の片山櫻です。今年は例年に比べあまり活動に参加できなかったのが少し心残りですが、その中でも印象に残っている活動についてお話しします。

杉沢比山では、アナウンスをしながら近くで舞を鑑賞しました。自分自身も行事に参加することで、遊佐町の伝統を肌で感じることができました。また、スポーツゴミ拾い大会では、当日スタッフとして動きつつ、目的通り地域の方と世代間交流をすることができました。こんなにも多くの地域の方が少年議会に関心を持ってくださっていることが嬉しく、思い出に残る活動でした。

私は地域みらい留学生として遊佐町に来て、3年間少年議会をやってきました。遊佐町を自分の身をもって感じることはできたり、どうしたら有意義な話し合いができるのだろうかとか奮闘したり、私にとって意味のある時間だったと思っています。

また、私は毎年、活動を通して少年議会に対して感じたことを小出しにして伝えてきました。2年前もチームビルディングの重要性を感じたことでアイスブレイクの実施を提案し、昨年度から実際にやって頂いたこともありました。例年通り今年もと思っていますが、最後なのでまとめて3つお伝えしたいと思います。

1つ目として、活動の軽食としてパン・飲み物に加え今年はお菓子も用意して頂きましたが、町の方のご支援があって自分達が活動できていることの自覚を持つことが大切だと感じていました。また、その分の予算を自分たちの学びにできるような使い道に変えることも一つありなのではと考えています。

2つ目として、少年議会のような活動をしている団体と関わることです。他の事例を知り学ぶことで、少年議会をさらにより良くすることができるのではないかと考えています。

3つ目として、話し合いをする時のグラドルールの設定です。話し合いの中で、みんなの目的や目標が定まっていないなどが要因で、話し合いが混沌としてしまっていた印象があります。そこで、大切にしたいことなどみんなの軸となるものを決めて、いつでもたち返れるようにできたら、スムーズかつさらに意義のある場にすることができると思います。

最後に、遊佐町を離れてしまいますが、必ずまた来たいと思います。3年間ありがとうございました。

議 会 報 告

少年副議長 岡部 里々歌

私は、遊佐高校2年の岡部里々歌です。

今期の少年議会では政策として、「スポーツゴミ拾い」や「伝統文化体験」を行いました。他にも「ゆざみらいしゃべり場」という意見交換会に参加したり、「私たちでつくる未来世代法」の設立を目指しているという特定非営利活動法人グラスルーツの方々とお話をしました。

私は、今期の活動を通して、みんなで一つのイベントを作り上げていくことの楽しさを感じることができました。募集の仕方やチーム分けの仕方を決めるときは中々意見がまとまらず、難しいと感じることもありました。そういった経験も、今ではいい経験だったと思えているし、イベントにたくさん人が来てくれた時や参加者の方に「楽しかったよ」などと言ってもらえた時に達成感がありました。

また、町内巡りや伝統文化体験で遊佐町の良さに改めて気づくことができました。杉沢比山や郷土料理、遊佐刺し子などの伝統が残っているのは当たり前なことではないし、絶えず受け継がれていってほしいと思います。遊佐みらいしゃべり場などで、これから新しいことをしていくにあたってのワークショップの機会はありますが、今までしてきたことを未来に繋げていくためのワークショップはないので遊佐町の素敵な伝統をこれからも残していけ

るようにそのような機会があればいいなと思いました。

遊佐町議会議員のみなさんとの意見交換会や、遊佐町以外の方からのヒアリングの対応など、普段の高校生活ではできない貴重な体験をたくさんさせてもらったことや、少年議会議会を周りで支えてくださっていた方々にとても感謝しています。一年間本当にありがとうございました。

議 会 報 告

少年議員 石垣 零

僕は、遊佐中学校1年の石垣零です。学校で少年議会議の説明を見た時に、少年議会議で活動してみたいなと思ったので、友達を誘って入りました。

僕からなかなか提案することはできなかったし、活動に多く参加することはできませんでしたが、先輩や友達から活動内容を教えて貰い、政策に参加することができました。みなさんから優しく接してもらえてうれしかったです。

少年議会議に入ってから、遊佐町のことを前より、深く考えられて良かったし、遊佐町のことがこれまでより好きになりました。なので、少年議会議に入ってから良かったと思えました。遊佐町が今より、どんどん良くなると思っています。1年間通して、深く考えることができ良かったです。

議 会 報 告

少年議員 國分 いつみ

私は遊佐中学校1年、國分いつみです。

初めての少年議会議では、年上の先輩方と遊佐町をもっと良くするために話し合い、いろいろな人の考えや意見を聞くことができ、とても勉強になりました。少年議会議の活動については、自分が提案した「スポゴミ」をすることができました。仲間と一緒に準備を進め、とても良い政策になったと感じました。

また、少年議会議の活動を通して気づいたこともあります。遊佐町は自然豊かで、この町に住んでいる町民もみんな優しく接してくれます。その一方で、課題も多くあるように感じます。私が思う町の大きな課題のひとつに、人口の減少や、それに伴い発生する空き家の問題があります。他にも良い所も課題もあると思いますが、来年の少年議会議の活動を通して、さらに遊佐町をよりよくしていきたいと思っています。

先ほどもお伝えしましたが、今期の活動はとても勉強になりました。来年も少年議会議に参加し、もっと遊佐町を良くしていきたいと思っています。1年間、ありがとうございました。

議 会 報 告

少年議員 佐藤 颯汰

僕は遊佐中学校1年の佐藤颯汰です。少年議会議には、友達と一緒に面白そうなので入りました。

僕は一緒に入った友達とスポゴミを提案して、実際に政策の一つにスポゴミが選ばれて、実際に開催することができたことがとても嬉しかったです。先輩のみなさんからは優しく教えてくださった人もいてすぐに慣れることができました。

初めて少年議会の活動に参加して、参加する前は遊佐町のことを深く考えることがありませんでしたが、今年参加してみて改めて深く町のことを考えることができたと思います。1年間ありがとうございました。

議 会 報 告

少年議員 畠中 彪良

私は遊佐中学校1年生の、畠中彪良です。

今期の少年議会では、主に「スポゴミ」「伝統体験イベント」を政策として行いました。

私は6月からの活動を通して、課題に感じた事が一つあります。それは、どちらも開催した地域が遊佐に限られてしまった事です。ですが、少年議会では集まる事のできる回数に限界があるので、何回もイベントを開くのは難しく、また、いろいろな地域で行うのも準備が難しいです。

そこで私は、イベントの開催について町に要望したい事があります。スポゴミなどのイベントを吹浦、高瀬、藤崎、蕨岡などの他の地域でも開催して欲しいのです。是非前向きな検討をよろしくお願いします。

最後に、半年間、地元で貴重な経験をさせてもらい、本当にありがとうございました。

議 会 報 告

少年議員 遠田 愛果

私は遊佐中学校2年の遠田愛果です。

私は、今回の少年議会を通して感じたことがあります。昨年は初めて少年議会に参加したこともあり、自分に何ができるのか分かりませんでした。しかし、今年は少しずつですが自分の意見を言えるようになりました。

今年の政策で行ったスポゴミでは、参加してくれる方にどうやったら楽しんでもらえるのか何時間もかけて考えました。そして、参加してくれた友達から「とても楽しかったよ!」という話を聞くことができとても嬉しかったです。そして、初めて会う人もたくさんいましたが、小学校時代の先輩にも久しぶりに会うことができ繋がりを持つことができました。地域の人にも忙しい中たくさんの方が参加して下さり、地域のあたたかさを感じることができました。

この活動を通して、改めて人と人との繋がりの大切さを感じました。私自身もよりよい活動にするために自分の意見をしっかり言うそして、相手の意見もしっかり聞くことが大切だと言うことを学ぶことができました。1年間、ありがとうございました。

議 会 報 告

少年議員 佐藤 大斗

私は遊佐中学校3年の佐藤大斗です。今期の活動で一番心に残っている活動はスポゴミです。スポゴミの目的は、世代間交流と町のゴミ拾いの2つでした。活動当日、寒い中人は集まるのかと思っていましたが、予想を上回るほどの人が来てくれて見事に成功しました。

この活動をして、私は思いました。このようなイベントをたくさん実施すれば人がたくさん集まってくれるので、それを利用すれば世代間交流ができ町の人たちと関係を持つことが

できるので、その人たちは遊佐から出ることが寂しくなり遊佐に住み続けるのではないかと。そうすれば人口減少対策になるのではないかと思います。

来期は少年議会に入るかはわからないのですが、この一年間で、またさらに遊佐町について知ることができました。この経験を活かして今後も遊佐町に貢献できるように頑張っていきたいです。

一年間ありがとうございました。

議 会 報 告

少年議員 永原たびと

私は遊佐高校1年の永原たびとです。私は少年議会への参加は初めてでしたが、参加できてとても良かったと感じています。

私が少年議会への参加を決意したきっかけとなったのが、鹿の角切でした。少年議員募集の時から気になっていた鹿の角切だったのですが、無事にやり遂げることができて私は大満足です。

そして今期の主な政策としては、スポーツごみ拾いと伝統芸能・工芸品を扱うイベントの開催でした。特に印象に残っているのがスポーツごみ拾いです。

スポーツごみ拾いでは、世代間交流を目的とし、高校生からお年寄りまで幅広い世代が集まりました。グループ対抗で行われたスポゴミは1グループに様々な年代の方がごっちゃになり、カオスながらも良いコミュニケーションの場となりました。コミュニケーションを取りながらごみ拾いができるスポゴミは一石二鳥でとても良い政策だと思いました。とても盛り上がったので定期的にやるべきだと思いました。

たくさんの政策がある中、私は少年議会を通して自分の意見を持つことができるようになりました。そこんところは成長できたと感じています。ある日こんなことがありました。イベントの際に役割が余っていたのです。そんな時に、私は自ら進んで立候補することができたら良かったと後悔しています。そういった機会は中々ないので逃しては勿体ないと今では悔い改めています。

私は来年度も少年議会への立候補を考えています。それは、鹿の角切目当てではなく、もっと遊佐町に貢献したいという思いが強くなったからです。少年議員達は幾度となく問題に立ち向かいます。明るい遊佐町のために。ありがとうございました。

議 会 報 告

少年議員 松本 直也

私は遊佐高校の一年、松本直也です。

まず始めに、この少年議会に入って私は本当に充実した時間を過ごせました。今年から初めて参加した少年議会でしたが、入ったばかりの頃は期待と不安を抱いていたのが、つい昨日のように感じます。少年議会のメンバーが集まって話し合う全員協議会や、町の執行部のみなさんへ若者の思いを伝える少年議会、共に楽しかったです。町と対話できる機会は滅多にないので、とてもワクワクしながら、毎回参加していました。

今年度の活動を振り返り、1番印象に残っているのは『スポゴミ』です。私自身はこのような経験はなかったので、とてもいい経験をすることができました。少年議会を通じて、私が学んだことは沢山ありますが、1番大きいのは、町のために何かできるのか、普段よりも

考える機会が増えたことで、以前とは違う自分が見えました。以前は町のことはあまり気にしていませんでしたが、今は違うとはっきり言えます。新しい自分を見つけることができ、本当に良かったです。

私は来年の少年議会にも立候補しようと考えています。来年は今年よりも積極的に話し合い、活動に参加し、遊佐町をいい方向に向けていきたいです。今年一年、本当にありがとうございました。

議 会 報 告

少年監査 小玉 ひかる

私は遊佐高校1年の小玉ひかるです

私は初めて少年議会に入り、意見がハッキリ言えるのか、楽しく活動できるのか凄く不安でしたが、凄く楽しく活動できました。自分がやりたかった活動もでき、自分達で考えた政策・企画を成功させることができ、よかったです。

今までにない経験、例えば鹿の角を切ったり、スポゴミでは地域の方との交流、他の高校から来てくれた人達との交流ができて、色んな話をして仲も深まって凄く楽しかったです。スポゴミではアルファベット順にグループわけをしたときに思うようにいかず、「あ、もうダメだ、」と諦めていたのですが、結果的に少年議会のメンバー皆と楽しめたので良かったです。

一年間ありがとうございました。

議 会 報 告

少年監査 佐藤 和香

私は遊佐高校1年の佐藤和香です

私は初めての少年議会で、はじめは思っていることを話し合いで自分の意見を言ったりすることができるか不安でしたが、事務局のみなさんをはじめ、少年議会のみんなが話しやすい環境を作ったりしてくれたので、自分の意見を発言しやすかったです。だからこそ、自分のやりたいことができたので良かったです。

今期の少年議会では、2つの政策を実現することができました。どちらもイベント系の政策で、参加者を集めるのが大変でしたが、私も何人か声をかけて人を集めることができたので良かったです。

私が1番印象に残った政策は、私自身もはじめての経験となったスポゴミを開催したことです。遊佐町はゴミがもともと少ないですが、より遊佐町がきれいになったので遊佐町に少しでも貢献できたかなと思いました。この活動を通して、スポゴミでは、もう少しインターネットでの発信やチラシを町外の学校にも配れたら目標だった人数も達成できたのかなと思いました。

私は、今のところ来期も少年議会に入りたいと思っているので、来期は今期よりもう1つくらい政策を実現できたらいいなと思っています。そのためにも、今期のように積極的に発言をして政策提案ができればいいと思いました。今年一年間、ありがとうございました。

少年事務局長 安岡 心結

私は遊佐高校一年の安岡心結です。

私は今期初めて、少年議会に参加させていただきとても良い経験をさせていただきました。惹(ひ)かる遊佐町、つづく遊佐町(いま)、つなげる遊佐町(みらい)を目標にたくさんの話し合いを重ね、スポゴミと伝統を体験できるイベントを開催させていただきました。

私は今期の活動を通して学んだことが2つあります。

一つ目は、目的や目標に合わせた理を常に考えることの大切さです。話し合いの回数を重ね、何度も試行錯誤していくうちに、目的を見失ってしまうことが多くありました。話し合いをする上で周りの人の話を聞き、逆に自分の話もしっかりと伝えることは大切なことですが、1番難しいことだと思いました。何回も協議会の回数を重ねていくうちに、互いの意見を尊重することと目的に合わせた意見の出し方のバランスを考えることを意識して活動することができたと思います。次からの活動にも活かしていきたいです。

二つ目は、見聞きすることと同時に多くのことを体験することです。やってみないとわからないことだらけで、少年議会を通して、体験してみてわかることの多さに改めて触れることができました。一つの活動をするために、話し合うための場所があり、話をし合える仲間がいて、アドバイスや運営企画のために裏でサポートしてくださる方がいて、少年議会が成り立っていることに活動に参加してみて気がつくことができました。そして、この体験を通して出会えた大人の方や仲間感謝の気持ちを持つことができました。

2つの学びを通して、得られたことをこれからも私自身の中で大切にしていきたいと思います。多くの学びと気づきをありがとうございました。

少年事務局次長 石田 美月

私は遊佐高校一年の石田美月です。私は今期初めて少年議会に参加しました。最初の方は、全員協議会で意見を積極的に言うことができませんでしたが、回数を重ねていくたびに意見を言うことができるようになりました。

今期の少年議会では、政策として世代間交流や若者向けの伝統体験イベントを行いました。世代間交流のイベントでは、「スポゴミ」を行いました。スポゴミではさまざまな年齢層を交ぜたグループを作り、ゴミ拾いをしました。行う前は、さまざまな年齢層の方たちで会話が续くだろうか、楽しんでいただけるだろうかと不安でした。しかし、そんな不安は吹き飛ばされ、参加してくれた方みなさんが笑顔で楽しそうに会話していたり、またこのようなイベントがあったら参加したいなどととてもありがたいことを言ってくださってとても嬉しかったです。少年議員全員で話し合い、準備することは大変でしたが、みんなで同じ目標に向かい頑張ることや実現できたことで、とてもやりがいを感じました。

一年間の活動を通して、とても充実していたなと思いました。違う学校、学年の仲間と遊佐町について話し合ったり、遊佐町議員の方との話し合いなど普通の高校生活ではできない貴重な体験をたくさんさせていただきました。それは周りにいるたくさんの方々支えてくださったからできたことだと思います。本当にありがとうございました。来年も立候補し、今年の活動の反省点などを活かし、遊佐町がもっともっと良い町になるように頑張りたいと

思います。一年間本当にありがとうございました。

議 会 報 告

少年事務局次長 山岸 慈雨

遊佐高校一年山岸慈雨です。私は今期の少年議会の活動に参加できてとてもよかったと思います。理由は大きく分けて3つあります。

1つ目は、沢山の人と関わる機会になったからです。少年議会がきっかけで関わった人はそれぞれ個性を持っていて、自分の意見を持ちそれを伝えられる人たちばかりでした。私はあまり人と話すのが得意ではありません。しかし、少年議会を通して沢山の人と話しました。考え方は人それぞれで、色々な意見を聞くことができとてもおもしろかったからです。今後も沢山の人と関わりたいです。

2つ目は、自分たちで企画を考えより良い企画にするために話し合うことの楽しさに気づけたことです。私は中学校在学時に特に自分たちで企画して何かを実行するという経験をしたことがありませんでした。当時は色々なことを人に任せてしまっていて、行事のほとんどを受け身で行っていました。しかし、高校に入学し私は、『せっかく遊佐町に来たんだから、自分がやっておかなかったことにチャレンジしよう』と思い少年議会に入りました。最初は自分の考えをあまり口にすることができませんでしたが、一緒に活動してくれた仲間や、見守ってくれた事務局のみなさんのおかげで、少しずつ自分の考えを発表する事ができるようになりました。他の人の考えを聞くのもとても楽しかったです。話し合いの大切さにも気づけました。

3つ目は、企画を実行したときの達成感がすごいということに気づけたことです。今期、少年議会ではスポゴミを企画し実行しました。世代間交流という目標を立て、どうすれば全ての年代の人が楽しんでくれるかなと意見を出し合い話し合いを重ねました。その結果沢山の人が参加してくださり楽しんでくれました。自分たちが考えた企画を楽しんでもらうのは、とっても嬉しいことでやってよかったと思えるようなものなんだなと思いました。達成感をものすごく感じました。

最後に、私は今期の少年議会の活動を通して多くの学びを得ました。また、少年議会を大きくバックアップしてくださった遊佐町、町の職員のみなさん本当にありがとうございました。今期関わったメンバーはもちろん、もっと色々な人と話してみたいので来期も少年議会に入りたいと考えています。本当に一年間ありがとうございました。来期もよろしくお願ひします。

少年
議会

若者の力で、遊佐の未来をつくる
～遊佐町少年町長・少年議員公選事業～

山形県遊佐町教育委員会 社会教育係

youthgikai@town.yuza.lg.jp

少年
議会

少年
議会

湧水の里・遊佐町

山形県と秋田県の県境、庄内平野の北端に位置

- 人口：12,502人（2023年11月末現在）面積：208.39 Km²
- 自然：五大自然（山 川 海 平野 砂丘）
日本海・鳥海山（2,236m）・庄内平野
鳥海山・飛島ジオパーク（日本ジオパーク）
- 産業：米、砂丘メロン、パプリカ、庄内柿、促成山菜



■ 少年議会設立の
きっかけとねらい



少年
議会

きっかけ - 当時の情勢 -

2000年頃の遊佐町で抱える問題…

- 平成の大合併
- 進学や就職等で遊佐町を離れる若者
- 人口減少、職住分離、生活形態の多様化

↓

時代を牽引する**若者が減少している**
問題を打破し時代をけん引するのは常に若者

少年
議会

きっかけ - 町の考え -

- **若者自身**からは**地域社会の一員**であることを自覚してもらいたい
- 若者の**活躍の場**を創るための**環境づくり**が必要である
- 若者の**力・意見を取り入れたまちづくり**を推進していこう
- 若者からさらに**町へ愛着や関心**を持ってもらいたい

少年
議会

きっかけ - 少年議会の誕生 -

『自分たち』の力で、『自分たち』が本当に求める
遊佐のまちをつくろう!!

2003年 - 少年町長・少年議員公選事業誕生



少年議会の特徴

少年議会

- ① **自ら立候補する**
 - 定員：少年町長（1名） 少年議員（10名）
 - 選挙権・被選挙権：町内在住・在学の中学生、高校生
 - 令和5年度 有権者 589名
- ② **独自の政策実現のための予算をもつ**
 - 第一期（2003年） 50万円
 - 第二期（2004年） 75万円
 - 第三期（2005年） 50万円
 - 第四期（2006年）～現在 45万円



少年議会の特徴

少年議会

- ③ **町に対して一般質問を行うことができる**
 - 中高生が普段生活をしていて疑問や不便に思っていることを町に対し要望を伝えることができる
 - 町は要望に対して町にとって必要だと感じた際には、担当課で予算化し対応する
- ④ **少年議会独自の政策を行うことができる**
 - 少年議会独自で政策をたて、政策予算を使いながら実現していく

一般質問と独自政策の内容は
中高生を対象にしたアンケートと立候補したメンバーの考えをもとに決定される



1年の流れ

少年議会

全体スケジュール

5月上旬	各高校&中学校生徒への説明会
5月中旬	立候補受付期間
6月中旬	投票（各学校にて）
6月下旬	開票・当選証書交付式
～7月上旬	第1回 少年議会 （所信表明）
7月～8月	政策立案期間
8月下旬	第2回 少年議会 （一般質問・独自政策の発表）
8月～12月	政策実施期間（視察研修・意見交換会）
12月下旬	第3回 少年議会 （事業報告）



立候補者募集

少年議会

少年議会プロジェクト委員

- 選挙管理委員会、議会議務局、企画課、教育委員会の町職員から組織
- 学校を訪問して立候補者募集



選挙(広報)公報の作成

- 立候補者の顔写真と立候補の抱負が記載
- 選挙になった場合、有権者はこれらを参考に投票

投・開票

少年議会

定数を超えた時は、投票に

- 学校に出向いて、その場で投票
- 投票率：**87.09%**（第21期少年議会）



開票

- プロジェクト委員で開票
- 少年議会からは立会人として参加することが可能



少年議会

少年議会

当選証書付与式・第1回少年議会

- 当選証書の付与 → 少年町長、少年議員 委嘱状の交付 → 少年副町長など
- 第1回少年議会で**所信表明**



第2回少年議会

- 少年議会から町への一般質問（要望）
- 少年議会独自政策の発表

第3回少年議会

- 少年議会事業報告



全員協議会 少年
議会

全員協議会(年約18回)

- 少年議会のメンバーだけで集まり、政策の実現に向けて行うもの



今年度の政策 少年
議会

政策① スポーツごみ拾いの開催

- 全町民へ広報への折込チラシを通じて周知
+ 町内小中高校 + お隣酒田市の高校4校へチラシの配布

合計70名もの人が集まり、交流を深めました！



今年度の政策 少年
議会

政策② 伝統体験イベントの開催

- 遊佐町に伝わる郷土料理作りと遊佐刺し子を体験できるイベントを中高生向けに募集、12名が参加



少年議会説明スライド 少年
議会

- **少年議会が実現してきた政策について**



遊佐町イメージキャラクター **「米〜ちゃん」** 少年
議会

町民が一つにまとまるよう遊佐町のシンボルが欲しい
(有権者の声)

- 第2期少年議会が全町民対象に募集し、選考・決定
- 2004年に誕生！ **今も町内で愛されているキャラクター！！**



米〜ちゃん&ライちゃんの着ぐるみ ↑
← 2009年には、ファミリーが登場

要望書・陳情書の提出 少年
議会

若者の要望を集約し、要望 → 町や関係機関へ

- 若者の要望を町に届けるため、現地調査や署名活動
- 要望書・陳情書を作成して町・関係機関に提出
- **街灯・防雪柵の設置など一部実現**



JR東日本へ陳情書を提出
アンケートを集計

町議会議員との意見交換会の実施 少年議会

■ 少年議会の政策を充実させるために大人の議員たちの意見も参考にしたい！




町議会議員との意見交換会の実施（第17期～）

■ グループに分かれて少年議会の政策について協議

■ 第19期～定例化となり政策としてではなく年間スケジュールの一部として実施



少年議会説明スライド 少年議会

■ 本事業の目的達成のために



本事業の目的達成のために 少年議会

【議員の主体性を尊重する】

■ アドバイスや提案は基本的に行わないようにする。
 ・大人が意見を言うと、正しいように感じてしまうため
 ・やらされていると感じてしまうと、意欲が減退する可能性があるため

■ 学生の本分に沿った活動を行う
 etc)強制ではないこと、忙しい時期の活動は行わない



本事業の目的達成のために 少年議会

【学校との協力事項】

■ 管内の各学校に少年議会の担当の先生を配置して頂いている。

■ 担当の先生方には立候補募集期間前に行う事業説明会、選挙があった際には投票の日程の取りまとめをお願いしている。



本事業の目的達成のために 少年議会

【保護者からのご協力】

■ 少年議会のメンバーへの文書の送付や連絡対応

■ 送迎など、活動に対するご理解とご協力

事業の初期はご理解を頂いておらず、親の了承が得られずに立候補を断念した学生もいました。町も時間を過ぎた活動を行った際にはお叱りを受けたこともありました。
 少年議会活動には保護者の皆さまのご理解・ご協力がなければ活動できません。

少年議会説明スライド 少年議会

■ 成果と課題



事業の成果① 少年議会

【少年町長・少年議員】

2022年度に行われた第1期から20期で少年議会に立候補した全員にアンケートを送付。

- 遊佐町への**関心や愛着**に変化があった（60%）
- **まちづくりへの興味**が生まれた（67%）

2023年現在で少年議会経験者から町長や町議会議員への立候補者が出ていないが、役場職員、まちセンの職員、スポ少コーチなど、地元で活躍している人が増えてきている。

また、昨年度は6年間少年議会に所属した学生や、今年は親が少年議会に所属して子どもも立候補したことも、20年を超える事業の時の流れを感じる出来事の一つとなりました。

事業の成果② 少年議会

【立候補者数が安定してきている】

立候補者の確保に苦しんだ年が続いた
（第3期～第15期まで議員の立候補者数が定員を超えなかった）

町としても**事業を続けるかどうか**、アンケートを取るなどして本当にこの事業が必要なのかを議論された……

結果……事業は**継続**することに

続いた理由は、第10期の**少年議会のメンバーから、これからも続けて欲しいという思い**を伝えられたことが大きい

事業の成果③ 少年議会

【立候補者数が安定してきている】

従来のアプローチ方法
その年度の有権者を対象にした事業説明会

①2017年からは年度末に**小学6年生を対象にした少年議会の事業説明会**を開催している。
次年度からは自分にも関係があるんだということを認識してもらう

②遊佐高校への進学を考えている学生への説明会時に、少年議会の紹介を盛り込んでもらっている
→**少年議会が理由で**遊佐高への進学を決めた学生もいました

マニフェスト大賞2021 少年議会

優秀成果部門 最優秀賞受賞

全国各地から2,730件の応募があり、7部門のうち、優秀成果部門の最優秀賞を受賞しました！

- 成果部門は生活者起点の立場に立った活動を通じて成果を出しているものを評価する賞。若者目線での活動が評価されての受賞



今後の課題 少年議会

本事業についての更なる周知

- 有権者や地域の大人からより一層少年議会について知ってもらい、**活動に参加・協働**してもらいながら事業を進める必要があります。

立候補者の確保

- 毎年新しい立候補者の確保が課題となっております。有権者の人数については2003年当時は1,316人でしたが、令和5年度は589人です。有権者である**中学生・高校生に興味を持ってもらえる**ような活動内容のPRと、保護者、関係機関への協力の呼びかけを行っていきたい。

少年議会

ご清聴ありがとうございました
Youthgikai@town.yuza.lg.jp

町議員との意見交換会の様子（9月29日）



少年議会
Presents!

スポゴミ

動きやすい服で来てね!

○スポゴミとは

「スポーツゴミ拾い」のこと。ゴミを拾うと点が入り、それによって勝敗が決まるスポーツ。

こんな人にオススメ

- ボランティアがしたい
- 友達や家族とイベントを楽しみたい
- すぐそば出合いがしたい
- スポーツがしたい

★参加賞(ジュースなど)や

景品(上位)、スタンプラリーもあるよ!

○開催日... 10月9日(9時受付開始、9時半スタート)

○集合場所... 梶佐町民体育館北側駐車場

※雨天時は町体でイベントなので、上履まで必要です!

申込み用紙

名前 _____ (歳)

名前 _____ (歳)

9月30日までに少年議員が
梶佐町生涯学習センターへ

☎Tel 0234-72-2236



梶佐



ゴミ袋



政策① スポーツごみ拾い（10月9日）



伝統体験

遊佐町少年議会

プレゼンツ!

イベント開催!

少年議会が体験型イベントを開催します!

講師をお呼びして、郷土料理づくりと遊佐刺し子制作を体験できます。町に伝わる伝統を少年議会と一緒に体験してみませんか?

日時 = 11月11日(土)

9:00 ~ 15:00 までの予定

郷土料理作り → 休憩 → 遊佐刺し子

場所 = 遊佐町生涯学習センター

2F. 第1・2研修室 調理室

持ち物 = エプロンなど服が汚れない格好

指ぬき(必要の方)

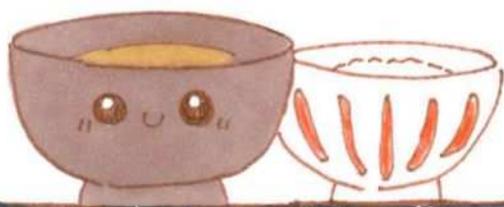
定員 = 先着10人

★お申込み、お問い合わせは少年議会メンバーが下記まで!

Tell = 0234-72-2236

Mail = youthgikai@town.yuza.lg.jp

10月31日(木)まで



講師の方

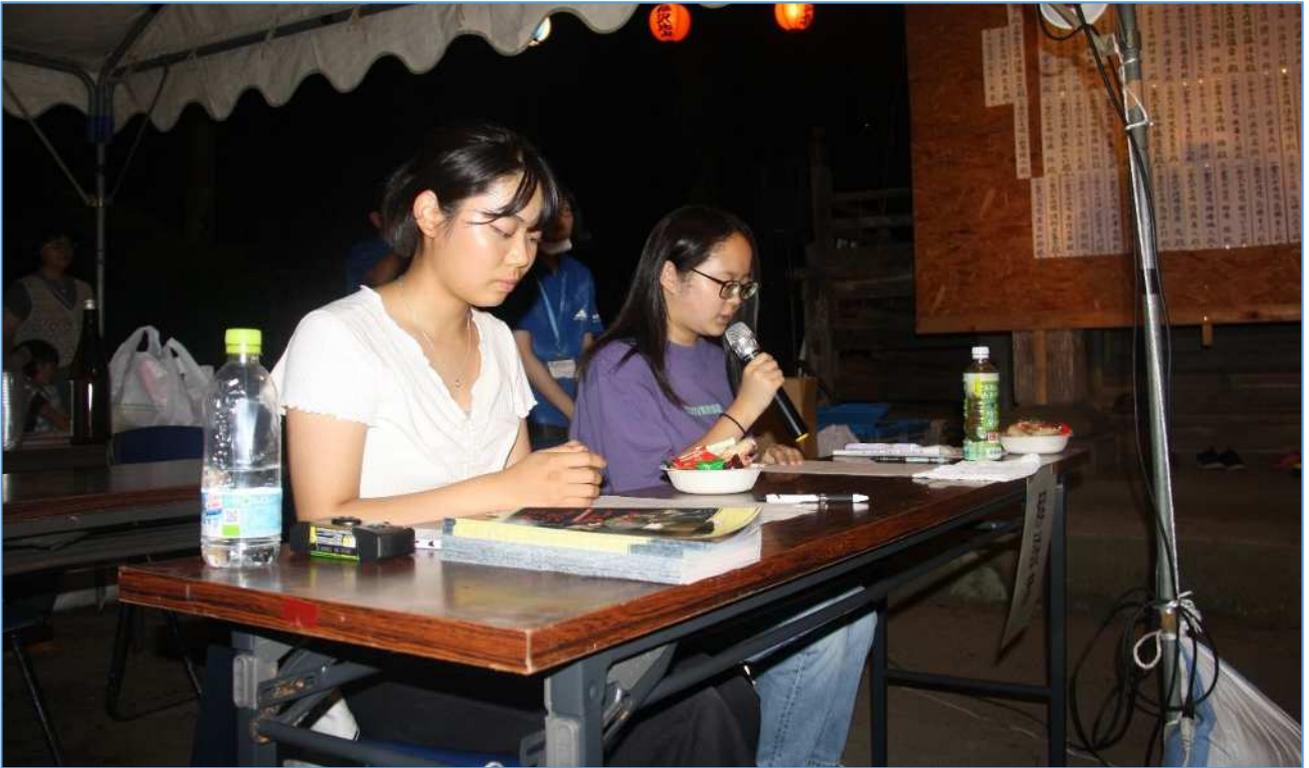
遊佐町食生活改善推進協議会

LLP 遊佐刺し子ギルド

政策②伝統体験イベント（11月11日）



町内イベントへの参加



杉沢比山 解説（8月6日）



ツーデーマーチ参加（9月2日、3日）



少年議会とは

町では、若者の力によるまちづくりを目指し、町在住・在学の中高生の中から「少年町長」と「少年議員」を選挙で選び少年議会を開催しています。少年町長と少年議員は、町の若者代表として議論して政策を決めていきます。

構成人数

第21期少年議会は、全17名で活動しています。

これまでの活動

第20期は、ゆざマルシェの開催や特産品開発などを行いました。過去には、遊佐町オリジナルキャラクターの発案やI-Rのダイヤ改正への要望などを実現し、若者目線での行政参画を進めています。

若者目線による政策実現へ

6月20日、少年町長・少年議員当選証書付与式及び第1回少年議会が行われました。遊佐町長より当選証書、少年町長より任命書が手渡された後、所信表明を行い第21期少年議会がスタートしました。

少年町長に就任した佐藤楓さんは、過去の2年間少年議員として活動しており、今年度から少年町長として活動します。初めて少年町長に挑戦するにあたって「」と所信を述べました。21期目を迎えた少年議会に今後もご期待ください。

第21期少年議会メンバー

【少年町長】

佐藤 楓 (酒田南高校1年) 高瀬

【少年副町長】

中川 詩野 (遊佐高校2年) 遊佐

【少年議員】

石垣 零 (遊佐中1年) 稲川

國分いつみ (遊佐中1年) 稲川

佐藤 颯汰 (遊佐中1年) 萩岡

畠中 彪良 (遊佐中1年) 吹浦

遠田 愛果 (遊佐中2年) 稲川

佐藤 大斗 (遊佐中3年) 高瀬

永原たびと (遊佐高校1年) 遊佐

松本 直也 (遊佐高校1年) 萩岡

岡部里々歌 (遊佐高校2年) 遊佐

片山 櫻 (遊佐高校3年) 遊佐

【少年監査】

小玉ひかる (遊佐高校1年) 酒田

佐藤 和香 (遊佐高校1年) 酒田

【少年事務局長】

安岡 心結 (遊佐高校1年) 遊佐

【少年事務局次長】

石田 美月 (遊佐高校1年) 遊佐

山岸 慈雨 (遊佐高校1年) 遊佐

第21期 遊佐町少年議会活動報告

今年度で21期目を迎える少年議会は、少年町長(1名)・少年副町長(1名)・少年議員(10名)・少年監査(2名)・少年事務局長(1名)・少年事務局次長(2名)の計17名で活動してきました。昨年6月から12月まで、学業・受験・部活動との両立を図りながら、町の事を考え一生懸命活動しました。1年間の主な活動を紹介します。

スポーツゴミ拾いイベント

一つ目の政策は10月9日のスポーツの日に開催されたスポーツゴミ拾いイベントです。コロナウイルスの影響もあり、ここ数年は人と交流するような政策を実施できずにいました。そんな中、中高生を対象に行ったアンケートでは、『町に求めるもの』として「世代間交流をしたい」という声や、「少年議会と一緒にやりたいこと』については「清掃活動やボランティア活動がしたい」との回答が多かったことからこの政策に決定しました。

当日は雨予報で、雨天時は体育館でレクリエーションを行うなど対応策も考えていましたが、少年議会メンバーの思いが通じたのか、雨が降ることはなくイベントを進めることができました。企画からチラシ作り、当日の運営まで少年議会のメンバーが創意工夫して取り組みました。また、中高生の他にも一般町民の方からご参加いただき、当日は70名がイベントに集まり、様々な世代の方と交流することができました。



開会式の様子



最後はみんなで記念撮影

伝統体験イベントの開催

二つ目の政策は「伝統体験イベント」です。こちらアンケートの結果に「伝統を大切にしたい町になって欲しい」という町に対する要望があり、少年議会で町の伝統を調べ、実際に体験するイベントをしようという趣旨のもと進めていました。

午前の部と午後の部に分かれて内容の異なる伝統を体験するイベントを開催しました。午前の部では、町の名産品であるパプリカを使った郷土料理の作り方等を体験するイベントを「遊佐町食生活改善推進協議会」の方を講師に迎え開催し、午後の部では「遊佐刺し子ギルド」の方を講師に迎え「遊佐刺し子体験」を開催しました。

こちらは中高生を対象に募集し、12名の方が参加してくれました。普段学校生活で持つことのない包丁や針を扱いながら、町に伝わる伝統を肌で感じる事ができたイベントでした。



郷土料理イベントの様子



遊佐刺し子イベントの様子

他にもさまざまな活動やイベントに参加し協力をしています



町議会と少年議会の集合写真



ツデーマーチへの参加



鹿の角切り

- ・町議会との意見交換会
- ・ツデーマーチでのエールとラジオ出演
- ・鹿の角切り
- ・町内ワークショップへの参加
- ・各種取材対応



オンライン取材の対応の様子

← 次のページでは、活動を終えた少年町長・少年議員の声をお届けします



今期の活動を終えて

12月19日(火)に第3回少年議会を開催し、今年度の活動が終了しました。

第3回少年議会で発表した活動報告の作文を紹介します。(一部抜粋)



少年町長

さとう かえで
佐藤 楓
(酒田南高校1年)

少年町長として活動して、より遊佐町への理解が深まり、そして自分自身成長を感じられる一年となりました。

相手に何を伝えたいのか、自分たちは何を目標しているのかなどの根本の部分特に意識し、話し合いを進め、開催することができました。

この1年での活動をこれからに活かし、遊佐町のために努めていきたいと思っています。



少年副町長

なかがわ うたの
中川 詩野
(遊佐高校2年)

少年議会の活動を通して、分かったことがあります。それは、私も好きなことで、誰かの役にたてるということです。

私は絵を描いたり、何か作ったりするのが好きでしたが、所詮自己満足だと思ってきました。だからこそ、でき上がったチラシをみんなに喜んでもらい嬉しかったです。今回の経験は、確かに私の勇気になりました。一年間本当にありがとうございました。



少年議長

かた やま さくら
片山 櫻
(遊佐高校3年)

私は地域みらい留学生として遊佐町に来て、3年間少年議会をやってきました。遊佐町を自分の身をもって感じる事ができたり、どうしたら有意義な話し合いができるのだろうかと奮闘したり、私にとって意味のある時間だったと思っています。

最後に、今年で遊佐町を離れてしまいますが、必ずまた来たいと思います。3年間ありがとうございました。



少年副議長

おかべ りりか
岡部 里々歌
(遊佐高校2年)

今期の活動では、政策以外にも様々な活動を行いました。

活動を通して、みんなで一つのイベントを作り上げていくことの楽しさを感じることができたり、町内巡りや伝統文化体験で遊佐町の良さに改めて気づくことができ、普段の高校生活ではできない貴重な体験をたくさんさせてもらったことにとても感謝しています。



少年議員

いし ぎき れい
石垣 零
(遊佐中学校1年)

僕からなかなか提案することはできなかったし、活動に多く参加することはできませんでしたが、先輩や友達から活動内容を教えて貰い、活動に参加することができました。みなさんから優しく接してもらえてうれしかったです。



少年議員

くunitani いつみ
國分 いつみ
(遊佐中学校1年)

先輩方と遊佐町をもっと良くするために話し合い、いろいろな人の考えや意見を聞くことができ、とても勉強になりました。

遊佐町は自然豊かで、この町に住んでいる町民もみんな優しい一方で、課題も多くあるように感じます。来年の少年議会の活動を通して、さらに遊佐町をよりよくしていきたいと思っています。



少年議員

さとう りんた
佐藤 颯汰
(遊佐中学校1年)

僕は一緒に入った友達とスポゴミを提案して、実際に政策の一つにスポゴミが選ばれて開催することができたことがとても嬉しかったです。

初めて少年議会の活動に参加して、参加する前は遊佐町のことを深く考えることがありませんでしたが、今年参加してみて改めて深く町のことを考えることができたと思います。



少年議員

はた なか りょう
畠中 彪良
(遊佐中学校1年)

私は活動を通して、政策は開催した地域が遊佐に限られてしまった事が課題に感じました。少年議会では集まる事のできる回数に限界があるので、町に要望してスポゴミなどのイベントを遊佐以外の地域でも開催して欲しいです。

最後に、半年間、地元で貴重な経験をさせてもらい、本当にありがとうございました。



少年議員

えん た まな か
遠田 愛果
(遊佐中学校 2年)

活動を通して、少しずつですが自分の意見を言えるようになりました。また、改めて人と人との繋がりの大切さを感じました。

私自身もよりよい活動にするために「自分の意見をしっかり言う」、そして「相手の意見もしっかり聞く」ことが大切だと言うことを学ぶことができました。



少年議員

さ とう ひろ と
佐藤 大斗
(遊佐中学校 3年)

少年議会での活動をして、このようなイベントをたくさん実施すれば人がたくさん集まり、人口減少への対策になるのではないかと思います。

この経験を活かして今後も遊佐町に貢献できるように頑張っていきたいです。



少年議員

な が ほ ら
永原 たびと
(遊佐高校 1年)

私が少年議会への参加を決意したきっかけとなったのが、鹿の角切でした。無事にやり遂げることができて私は大満足です。

私は来年度も少年議会への立候補を考えています。それは、鹿の角切目当てではなく、もっと遊佐町に貢献したいという思いが強くなったからです。一年間ありがとうございました。



少年議員

まつ もと なお や
松本 直也
(遊佐高校 1年)

まず始めに、この少年議会に入って私は本当に充実した時間を過ごしました。

活動を通じて、町のために何かができるのか、普段よりも考える機会が増えたことで、以前とは違う自分が見えました。来年は今年よりも積極的に話し合い、活動に参加し、遊佐町をいい方向に向けていきたいです。今年一年、本当にありがとうございました。



少年監査

こ だ ま
小玉 ひかる
(遊佐高校 1年)

少年議会に入り、楽しく活動できるのか凄く不安でしたが、すごく楽しく活動できました。自分がやりたかった活動もでき、自分達で考えた政策・企画を成功させることができました。

今までにない経験、例えば鹿の角を切ったりと不安もありましたが、結果的に少年議会のメンバー皆と楽しめたので良かったです。



少年監査

さ とう の ど か
佐藤 和香
(遊佐高校 1年)

話し合いで自分の意見を言ったりすることができるか不安でしたが、少年議会のみなが話しやすい環境を作ったりしてくれたので、自分の意見を発言しやすかったです。

来年も立候補して、今期のように積極的に発言をして提案ができたらいいと思いました。今年一年間、ありがとうございました。



少年事務局長

や す お か み ゆ う
安岡 心結
(遊佐高校 1年)

私は今期の活動を通して目的や目標に合わせた理を常に考えることの大切さと多くのことを体験する大切さを学び、出会えた大人の方や仲間感謝の気持ちを持つことができました。

2つの学びを通して、得られたことをこれからも私自身の中で大切にしていきたいと思っています。多くの学びと気づきをありがとうございました。



少年事務局長次長

い し だ み づ き
石田 美月
(遊佐高校 1年)

少年議員全員で話し合い、準備することは大変でしたが、みんなで同じ目標に向かい頑張ることや実現できたことで、とてもやりがいを感じました。違う学校、学年の仲間と遊佐町について話し合ったり、遊佐町議員の方との話し合いなど普通の高校生活ではできない貴重な体験をたくさんさせていただきました。

今年の活動の反省点などを活かし、遊佐町がもっともっと良い町になるように頑張りたいと思います。



少年事務局長次長

や ま ぎ し じ ゅ う
山岸 慈雨
(遊佐高校 1年)

たくさんの人と関わる機会がありました。企画をより良くするために話し合うことの楽しさに気づき、達成感や充実感を感じた少年議会の活動でした。

活動を通して多くのことを学び、もっといろいろな人と話し、関わりたいと思いました。

今期 1 年間の少年議会の活動へのご支援・ご協力
ありがとうございました！

● 問 / 教育課社会教育係 ☎ 72-2236

令和5年度遊佐町少年町長・少年議員公選事業
プロジェクト委員名簿

番号	所 属	職 名	氏 名
1	議会事務局	議事係長	船越 早苗
2	総務課（選管）	総務係主任	遠田 久幸
3	企画課	企画係主事	菅原 優輔
4	〃	観光物産係主事補	加々谷 朱里
5	教育課	課長	鳥海 広行
6	〃	学校指導係長兼指導主事	鈴木 純平
7	〃	総務学事係主事	池田 小珠
8	〃	文化係主事	金野 史弥
9	〃	社会教育係長	斎藤 浩一（事務局）
10	〃	社会教育係主査	太田 さおり（事務局）
11	〃	社会教育係主任	池田 有彦（事務局）
12	〃	社会教育係主事	風間 雅文（事務局）
13	〃	社会教育アドバイザー	菅原 充（事務局）
14	〃	社会教育アドバイザー	高橋 共之（事務局）

- ◆ 遊佐町少年町長・少年議員公選事業の実施のため、遊佐町役場内にそのサポートのためのプロジェクトチームを立ち上げる。
- ◆ プロジェクトチームは、実際の事業を執行する際、直接若者達の支援を行う。

※ 担当課 … 議会事務局・選挙管理委員会・総務課・企画課・教育課



**明日の遊佐町に
ぼくたち、わたしたちは
提案します。**



**遊佐町のイメージキャラクター
「米~ちゃん (べえ~ちゃん)」**

第2期少年議会で募集されて生まれました。
今では、遊佐町を代表するキャラクターと
なっています。